

据付説明付き

取扱説明書 クーリングコイル（業務用）

品番 冷凍
(使用温度：-10℃～-40℃)

CC-B6000LH
CC-B13000LH
CC-B20000LH
CC-B25000LH



上手に使って上手に節電

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 2～4
各部のなまえ 5

据付けのしかた

設置について 6～12
電気配線工事について 13
試運転について 13

操作のしかた

ご使用方法 14～16

その他

点検とお手入れのしかた 17
修理を依頼される前に 18
修理について 19～21
仕様 22～25
製品取付天井寸法 26
製品電気回路図 27～30
配線図 31～38

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。


- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2～4ページ）を必ずお読みください。


安全上のご注意

必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源回路を切る

〈発煙・発火、感電のおそれ〉

異常・故障例

- 漏電遮断器が自動的に「切」になる。
- 運転中、焦げ臭いにおい、異常な音がする。
- 電源が異常に熱い。
- 災害で製品が水没した。
- ビリビリと電気を感じる。

- すぐにお買い上げの販売店にご連絡してください。

■ 電源線は…

次のことをしない

禁止

〈火災や感電のおそれ〉

- 傷つけない、破損しない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
- ぬれた手で電気部品に触れない。

次のことを守る

〈火災や感電のおそれ〉

- 電源は専用回路を設ける。

アースを接続する

〈漏電時に感電のおそれ〉

- アース接続 ● アース工事は必ず専門の業者に依頼する。

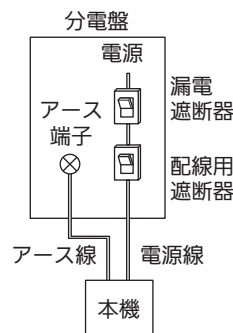
■ 電気工事について…

専門業者に依頼する

● 電気工事とは…

- 漏電遮断器を取り付ける。
- 配線用遮断器を取り付ける。
- 分電盤のアース端子に接続する。
- 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行う。

(火災や漏電のおそれがあります。アースが不完全な場合は、感電のおそれがあります。)



■お使いのときは…

禁止

次のことをしない

〈火災や感電のおそれ〉

- 揮発性・引火性のある物は庫内に入れない。
- 可燃性スプレーを製品の近くで使用したり、可燃物を置いたりしない。
- 製品の外側や庫内に直接、水をかけたり、水洗いしたりしない。
- ぬれた手でスイッチを操作しない。
- 分解や修理・改造は絶対にしない。
- 製品の外側にねじなどを打ち付けない。

〈引火爆発・火災のおそれ〉

- ガス漏れに気づいたら製品やスイッチに手を触れない。

〈やけど・けがのおそれ〉

- 吹出口・吸込口・可動部に指や棒を入れない。

**次のことを守る**

- 食品の一時保存用として使用する。

〈引火・爆発のおそれ〉

- ガス漏れに気づいたら窓を開け換気する。

■使用温度範囲を守る

- お買上げ製品は、仕様欄を確認し適切な温度範囲で使用する。

■設置のときは…

禁止

次のことをしない

〈火災や感電、けがのおそれ〉

- 水のかかりやすい場所に据付けない。
- 屋外で使用しない。

〈ショート・感電のおそれ〉

- ドレンホースに巻いてあるヒーターを切断しない。

**次のことを守る**

〈火災や感電のおそれ〉

- 据付けは専門業者に依頼する。

〈けがのおそれ〉

- 重量に充分耐える水平な所に確実に据え付ける。

**■お手入れや
整備・点検のときは…****次のことを守る**

〈けが・感電のおそれ〉

- 必ず電源回路を切る。

■保管・廃棄時は…

禁止

次のことをしない

〈けがなどのおそれ〉

- 子供が遊ぶ可能性のある場所には放置しない。

**次のことを守る**

〈はさみこみなどのおそれ〉

- テープやロープなどで扉が開かないように固定する。

〈火災や感電のおそれ〉

- 雨水のかからない場所に保管する。
- 製品の廃棄は専門業者に依頼する。詳しくはお買上げの販売店にお問い合わせください。

〈けがのおそれ〉

- 使用を終了した製品は、万一の落下防止のため放置せずに撤去をする。

安全上のご注意

必ずお守りください



注意

■お使いのときは…



禁止

次のことをしない

〈火災や感電のおそれ〉

- 運転中の製品に手を触れない。

〈冷媒漏出のおそれ〉

- 腐食性ガスを発生する食品は、無包装のまま貯蔵庫に入れない。
(腐食性ガスにより、銅管が腐食し冷媒漏出の可能性があります。)

〈やけど・感電のおそれ〉

- 露出している配管や配線には触れない。



次のことを守る

〈貯蔵物梱包材の劣化のおそれ〉

- 貯蔵物は運転中の製品に触れない場所に貯蔵する。
- 異常運転停止の場合には、商品の温度上昇を防止する。
商品の移動もしくは貯蔵庫内にドライアイスなどを入れる。

■設置・移動・保管 廃棄時は…



禁止

次のことをしない

〈故障のおそれ〉

- 温泉地や海岸付近での使用・保管はしない。(硫酸分や塩分が多いため)

〈引火爆発・火災のおそれ〉

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所へは設置しない。



次のことを守る

- 排水工事を確実にを行う。

■お手入れのときは…



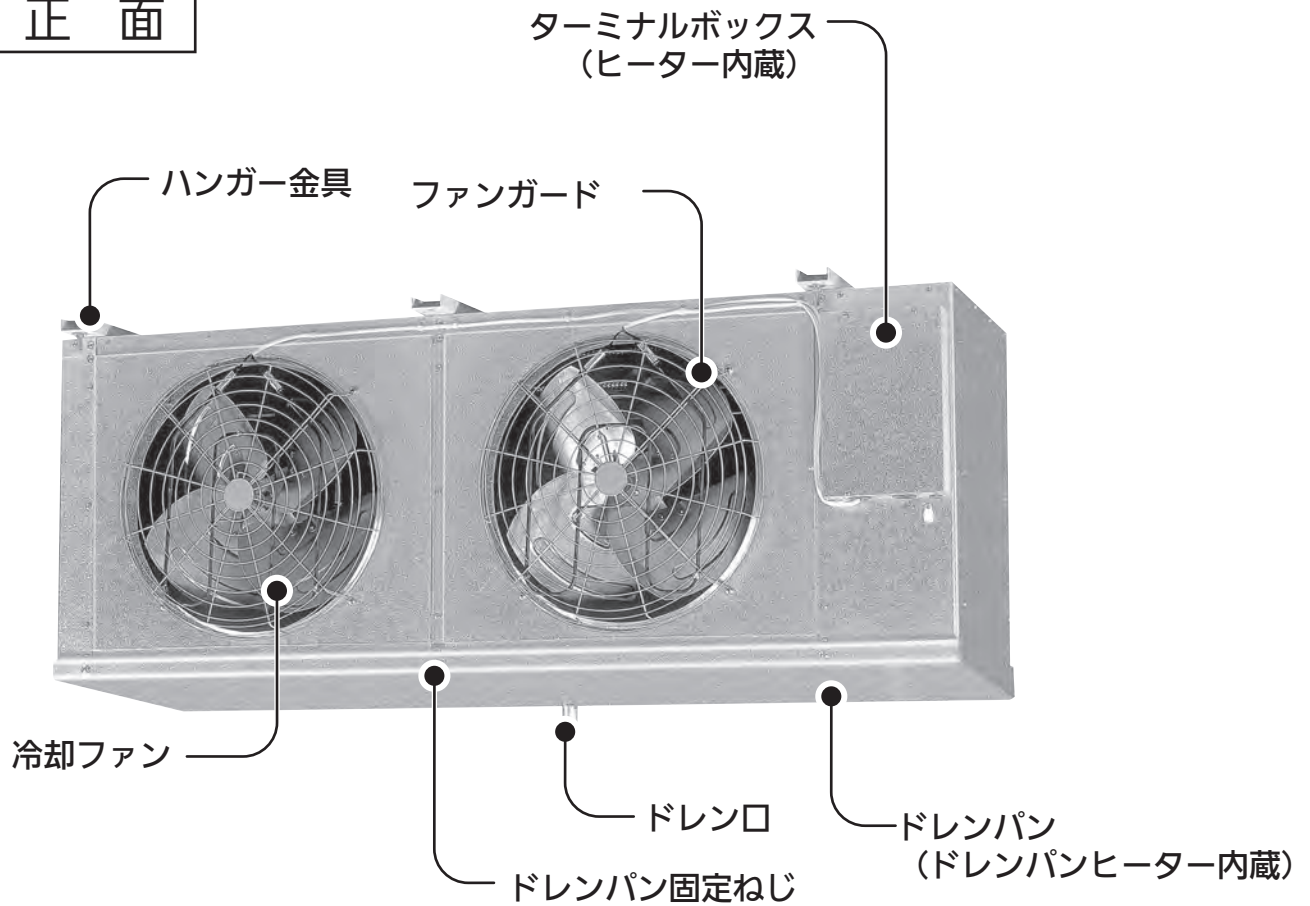
次のことを守る

- 漏電遮断器は、定期的(1年に1回以上)に動作確認をする。
点検方法はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

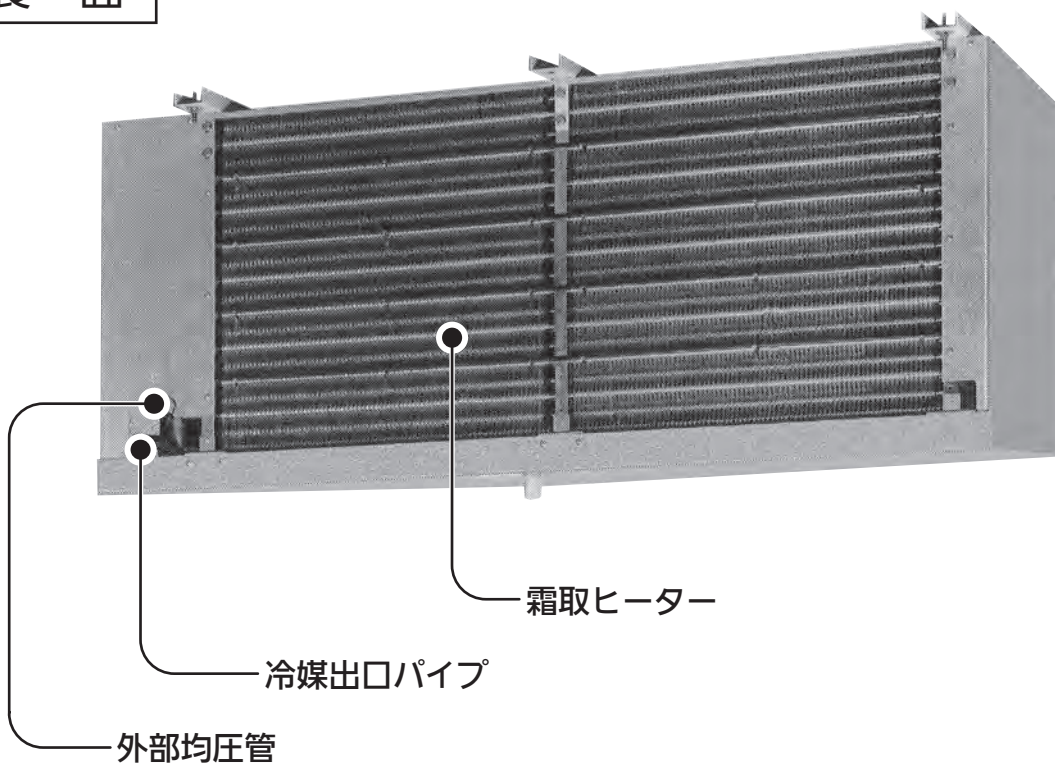
各部のなまえ

品番：CC-B13000LHで説明しています。

正面



裏面



設置について

据え付けの前に

■冷媒配管の接続仕様は下記のとおりです。

	CC-B6000LH	CC-B13000LH	CC-B20000LH	CC-B25000LH
冷媒入口	φ12.7 mm FN (3/4 -16UNF)	φ15.88 mm FN (7/8 -14UNF)	φ15.88 mm FN (7/8 -14UNF)	φ15.88 mm FN (7/8 -14UNF)
冷媒出口	φ25.4 mm OD 溶接	φ31.75 mm OD 溶接	φ38.1 mm OD 溶接	φ41.28 mm OD 溶接
冷媒出口 外部均圧管	φ4.0 mm FN (7/16 -20UNF)	φ4.0 mm FN (7/16 -20UNF)	φ4.0 mm FN (7/16 -20UNF)	φ4.0 mm FN (7/16 -20UNF)

■ドレン配管の接続仕様は下記のとおりです。


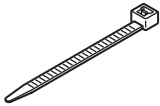
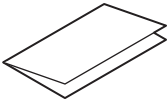
ドレン口寸法	25 A (R1)
接続継ぎ手	45° エルボ 呼び1

■端子台に使用する丸端子はご使用になる電気回路の電流値・配線距離により下記の中から選定してください。

ねじサイズ	型式	メーカー	対象機種
M4	R1.25-4	日本圧着端子製造(株)	全機種
M4	R2-4	日本圧着端子製造(株)	全機種
M4	3.5-R4	日本圧着端子製造(株)	全機種
M4	R5.5-4	日本圧着端子製造(株)	全機種
M5	R5.5-5	日本圧着端子製造(株)	CC-B20000LH
M5	8-5NS	日本圧着端子製造(株)	CC-B20000LH、B25000LH
M5	14-5NS	日本圧着端子製造(株)	CC-B25000LH

※端子加工の際は、端子メーカーが指定する適用圧着工具を使用してください。

■下表を参考に本製品の付属品を確認してください。

名称	形状	個数			
		CC-B6000LH	CC-B13000LH	CC-B20000LH	CC-B25000LH
M6組ねじ		4	6	8	10
結束バンド		3	3	3	3
取扱説明書 (本誌)		1	1	1	1

設置について

ご用意するもの

■クーリングコイルを設置するにあたり、付属品以外に下記のものが必要です。

クーリングコイルの据え付けに必要なもの

	呼び	個 数			
		CC-B6000LH	CC-B13000LH	CC-B20000LH	CC-B25000LH
ボルト	M12	4	6	8	10
ナット	M12	8	12	16	20
ばね座金	M12	4	6	8	10
平ワッシャー (みがき丸)	M12	8	12	16	20

冷凍回路や電気制御回路等との接続に必要なもの

電磁弁	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
膨張弁 (外部均圧式)	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
オイルトラップ	冷却回路のオイル戻りを良くするため、できるだけ小さいものを設けてください。
銅配管	クーリングコイルの冷媒入口・出口管の接続仕様をご覧になり適正サイズを選定してください。その他の配管は冷却ユニットやその他接続機器の取扱説明書ならびに施工説明書を良くお読みになって選定してください。
ドレン用配管	ドレン接続仕様をご覧になり選定してください。
接続電線	設置機種仕様、必要電線長さ等より選定してください。
丸端子	6 ページをご覧ください。
結束バンド	電気の配線処理に使用します。

使用工具

- ・電動ドリル
- ・スパナ
- ・ロウ付け用バーナー
- ・ドライバー (+)
- ・パイプカッター
- ・圧着機
- ・フレアツール
- ・プライヤー (ペンチ)

■ねじの締めつけトルクは下表を参考としてください。

	締めつけトルク (N・m)	対象部品
M 4 ねじ	0.9	外装カバー取り付けなど
M 5 ねじ	1.7	電装箱取り付け・ドレンパン取り付け・ファンガード取り付けなど
M 6 ねじ	2.3	ドレンパンへのヒンジ固定など
端子ねじ M4	1.6 ~ 2.0	端子台への端子取り付け
端子ねじ M5	2.0 ~ 2.5	

■フレアナットの締めつけトルクは下表を参考としてください。

パイプ径	締めつけトルク (N・m)
φ 6.35 (1/4")	12 ~ 17
φ 9.52 (3/8")	31 ~ 38
φ 12.7 (1/2")	44 ~ 54
φ 15.88 (5/8")	54 ~ 63
φ 19.05 (3/4")	72 ~ 82

設置について

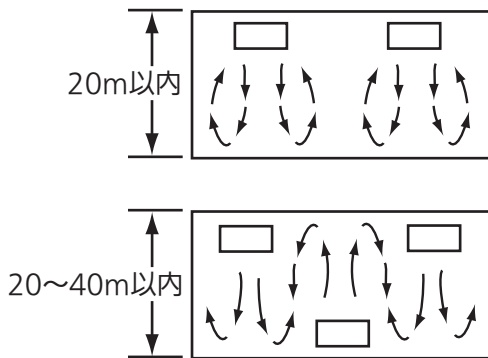
事故・損害（故障）免責のご注意

- 本書説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が発生した場合には、当社では責任を負えません。
また、その据え付けが原因で故障が生じた場合には、当社保証の対象外となります。

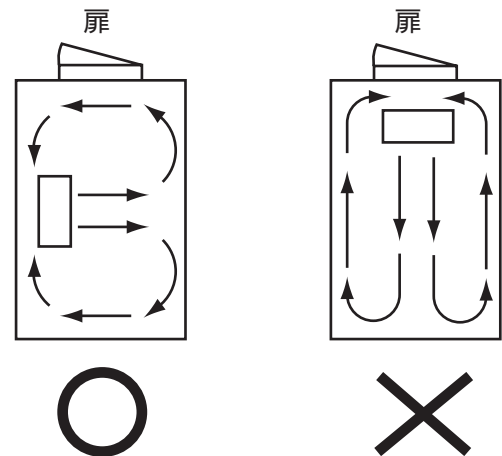
設置場所

- 温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
(硫酸分や塩分が多いため)

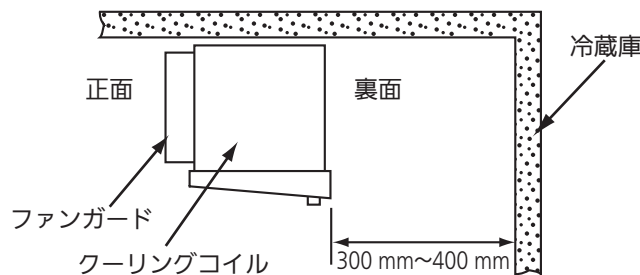
- 冷蔵庫奥行寸法が 20 m 以内の場合は、クーリングコイルを片側方面に並べてください。20 m を越える場合は、両側に向かい合わせに取り付けてください。



- クーリングコイルを扉の近くにおきますと、扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、着霜が増し、能力が低下し、冷えない現象になりますので注意してください。



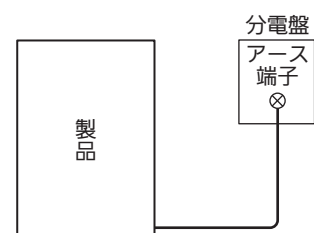
- 本体はクーリングコイル裏面が壁側に向くよう取り付けて冷気の循環と取り付け工事、サービスなどの施工を考え、後部と壁面には 300 mm ~ 400 mm の間隔をあけてください。また、ターミナルボックス側と冷蔵庫壁の間隔を広く取ると、保守点検に便利です。クーリングコイルは冷蔵庫の天井に直接取り付けます。本製品は安全のため、ファンガード下端が床面より 1.8 m 以上の高さになるように設置してください。



アース工事のお願い

ご使用前にアースが正しく確実に、取り付けられているかご確認ください。

- 本製品は安全のため、必ずアース工を行なってください。
(専門の業者によるD種接地工事が必要です。)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。(法令で禁止されています。)
- ご不明な点はお買い上げの販売店、または専門の業者にご相談ください。

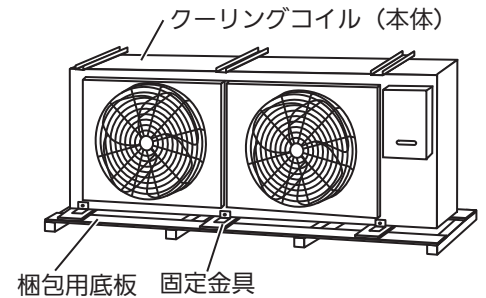


設置について

据え付け方法 1

- ①天井パネルに取り付け穴φ14 mm(穴位置寸法は 29 ページを参照)を開けてください。
- ②輸送用の固定金具(右図: CC-B13000LH の場合6個)を取りはずしてください。
- ③クーリングコイル本体(ドレンパン無し)を梱包底板の上に置いたまま、フォークリフトなどで持ち上げてください。

品番	穴数
CC-B6000LH	4
CC-B13000LH	6
CC-B20000LH	8
CC-B25000LH	10

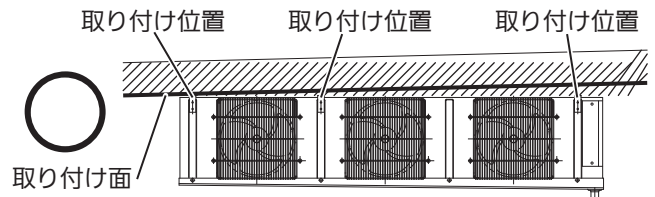


〈据え付け上のご注意〉

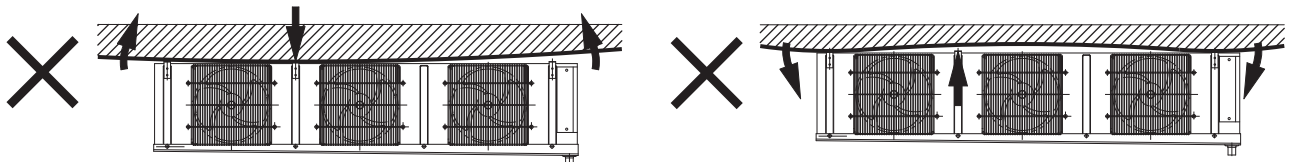
- クーリングコイルの設置場所および取付方法は、アングルを組むなど、耐震基準を満たす方法で施工してください。耐震基準を満たさない施工をした場合、大きな揺れや振動により、落下、破損、故障の原因となります。

- 据え付けの際には、製品の取り付け面が同一平面上にあることをご確認ください。
※クーリングコイル本体を水平に取り付けてください。
排水をスムーズにするため、ドレンパンにはわずかな傾きをもっています。

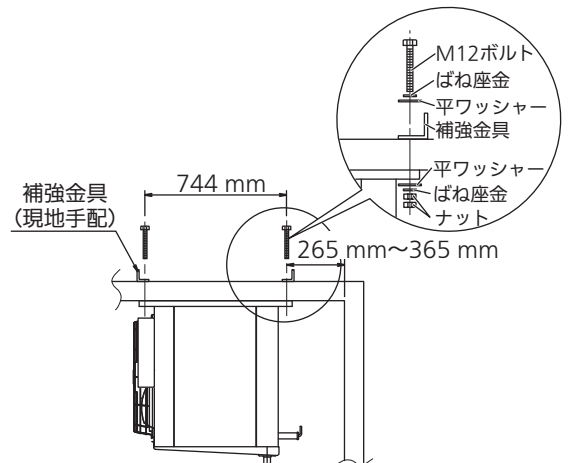
- 製品の取り付け面が同一平面上にある状態です。(右図参照)



- 取り付け面が下図のような場合、製品両端の矢印のような力が常にかかり、製品が変形した状態となります。(下図、右図参照)



- ④M12ボルトを通して下側からナットでクーリングコイルを天井パネルに固定する方法で設置してください。
※右図のように、プレハブ冷凍冷蔵庫の天井パネル外側に充分補強を行い、ボルト・ナット等でしっかり固定してください。
天井パネルとの固定が不十分だと、クーリングコイル本体が振動し、異音やファンモーター等の故障の原因となることがあります。



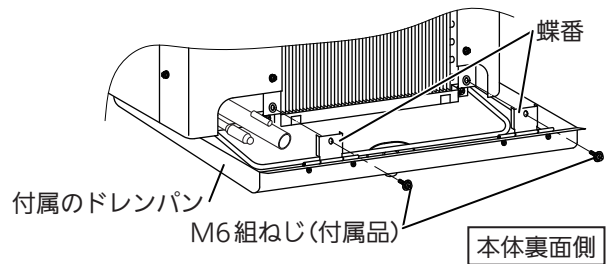
〔振動・異音が生じた場合の対処方法〕

- クーリングコイルを天井パネルに固定しているボルトとナット等を、製品落下等の危険が無い程度に一旦緩めて、締め直してください。対角の順番で均等になるように調整し、ボルトとナット等を締め直すことで、振動や異音が低減することがあります。

設置について

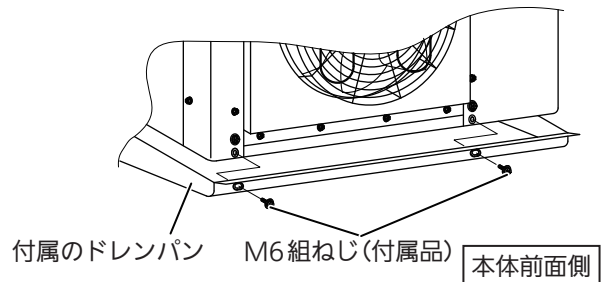
据え付け方法 2

- ⑤クーリングコイルを固定した後、梱包用底板を降ろしてください。
- ⑥付属のドレンパンを蝶番が本体の裏面側(右図参照)になるように付属のM6組ねじ(7ページ:締め付けトルク参照)にて取り付けてください。
- ⑦ドレンパンヒーターのリード線を右表の端子番号に接続し、リード線がヒーターに接触しないよう付属の結束バンドで固定してください。

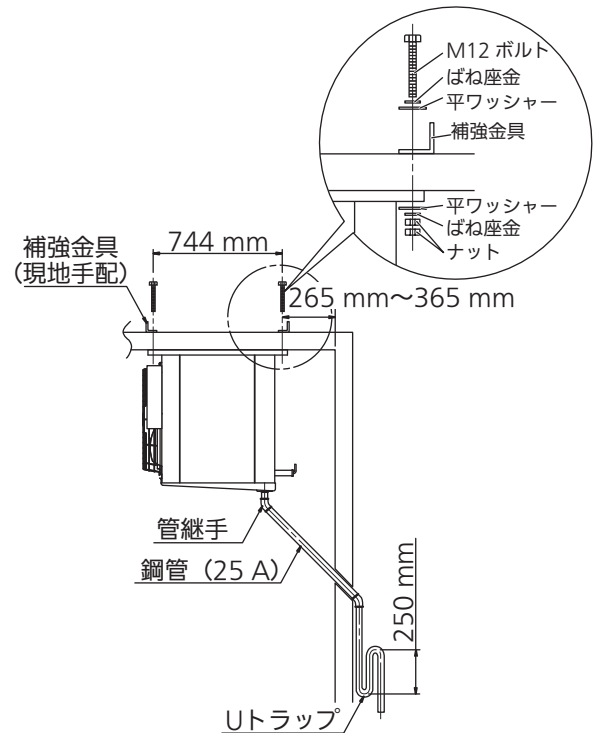


品番	接続端子番号
CC-B6000LH	⑥, ⑦, ⑧
CC-B13000LH	⑭, ⑮, ⑯
CC-B20000LH	⑫, ⑭, ⑯
CC-B25000LH	

- ⑧リード線接続および結束バンド処理後、ドレンパンを閉めて本体前面側(右図参照)に付属のM6組ねじ(7ページ:締め付けトルク参照)にて固定してください。



- ⑨Bシリーズクーリングコイルのドレン口は、外周PT1のテーパねじ加工が施してありますので、鋼管による配管ができます。
- ドレン口に管継手(45°エルボ呼び1)を接続し、さらに25 A鋼管を接続してください。
- 庫内側の排水管には排水管内の氷結防止手段を施した後、断熱材(厚さ10 mm程度)を巻いてください。
- 試運転の際に、排水管内部が氷結しないことを確認してください。
- 庫外にて排水管にUトラップを設けてください。
- なお、ゴム製のドレンホース(ヒーター内蔵)をご使用の場合は下表の1,2を別途購入して使用してください。
- 1のゴム製ドレンホースを使用する場合は、断熱材は巻かないでください。
- ドレンホースの劣化、ヒーターの断線の原因になります。

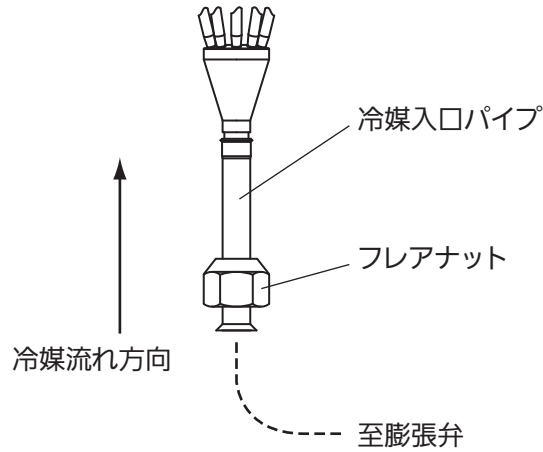


	部品名	部品コード	員数	仕様
1	ドレンホース	1FC-0-5480-302-00	1	ヒーター付、46 W
2	ホースバンド	821-0-8206-048-00	2	

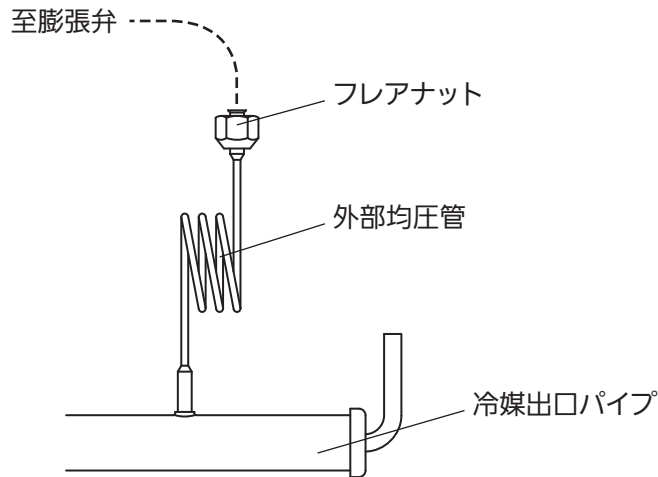
設置について

冷媒入口パイプの接続

- 膨張弁の大きさ・形状などを検討のうえ膨張弁の配置・配管を決めてください。
冷媒入口パイプはフレア接続です。



- 本機冷媒出口管の外部均圧管は、膨張弁の外部均圧口に接続してください。



CC-Bシリーズクーリングコイルは、冷媒入口パイプに外部均圧式膨張弁をご使用ください。

ご注意

外部均圧管はクーリングコイル冷媒出口パイプに装備されています。
膨張弁取り付け時、外部均圧管等がリード線に接触しないようにしてください。

設置について



警告

溶接は有資格者が行う

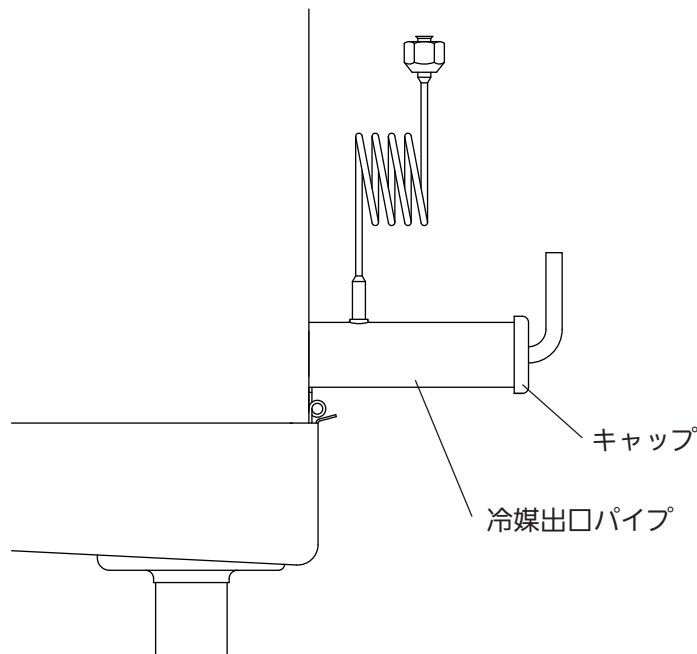


配管の溶接・溶断は、法令により定められた有資格者が行なってください。

冷媒出口パイプの接続

■冷媒出口パイプには、キャップがロウ付けされています。

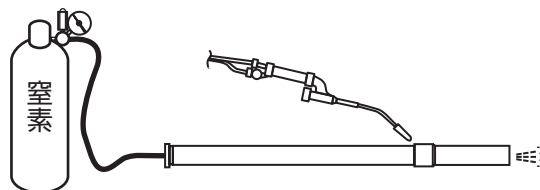
ロウ付け用バーナーにてキャップをあぶり、はずしてからUトラップ管をロウ付けしてください。



■溶接接続

溶接時には必ず、乾燥窒素ガスを通しながら溶接を行い、配管内に酸化スケールが生成しないようにしてください。

また、配管の溶接時に炎がユニット内の電気配線や、内部の他の機器などに当たらないようにストレート板などで保護してください。



電気配線工事について

- 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なってください。電源回路不良、容量不足、施工不備があると火災や漏電の原因になります。

感電防止

- 安全のためD種接地工事によるアース(接地)を取り付けてください。電気設備技術基準により、アース工事をするほか、万一の感電や火災を防止し安全に使用していただくため、必ず漏電遮断器を取り付けてください。アース工事と漏電遮断器の設置は、お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。
- 電源は、高温部(コンプレッサー、凝縮器、吹出配管)および金属のエッジ部に接触しないようにしてください。直接接触すると配線被覆の損傷により漏電の原因となります。

ファンモーターの焼損防止

- 氷結等によりファンモーターがロックしたままとなるとファンモーターが異常発熱し焼損する恐れがありますので、必ず、ファンモーターの電路へサーマルリレー(熱動継電器)を設置してください。
各機種のサーマルリレー設定値は、下表を参照してください。

機種名	サーマル設定値(A) (熱動継電器設定値)	
	50 Hz	60 Hz
CC-B6000LH	2.7	2.9
CC-B13000LH	5.3	5.8
CC-B20000LH	8.0	8.6
CC-B25000LH	10.7	11.5

試運転について

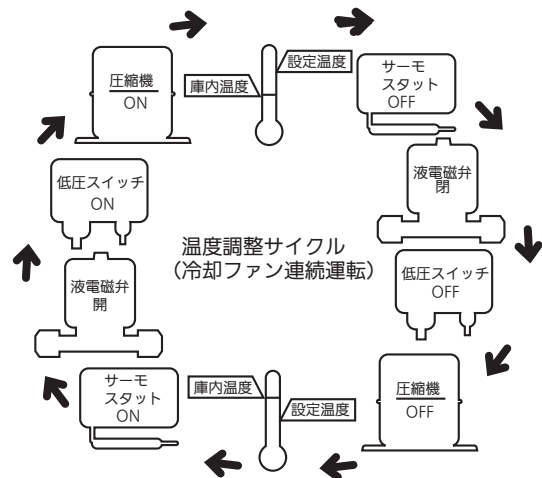
- クーリングコイルおよび室外機の設置、配管、配線工事終了後、試運転を行なってください。
- 試運転にはお客様に立合いをお願いして行い、実際に冷えているのを確認してください。
- 「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。
そして、「安全上のご注意」、「ご使用方法」、「お手入れのしかた」などをご説明ください。

ご使用方法

温度調節について

■温度調節サイクル

- ① 市販の温度調節器(サーモスタット)、液電磁弁が必要です。
- ② 庫内温度がサーモスタットの設定温度以下に冷えると、サーモスタットの作動により液電磁弁を閉じて運転するため、低圧圧力が下がることで低圧スイッチがOFFし、圧縮機は停止します。この時、冷却ファンは連続運転します。
- ③ 庫内温度が設定温度以上に上昇した場合、サーモスタットがONし、液電磁弁が開いて、冷却器に冷媒が流れ込むことで低圧圧力が上昇し、低圧スイッチが復帰して圧縮機は再び運転をはじめます。



このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

なお、弊社マイコンコントローラー SEC-C230T、クーリングシステムコントローラー SDT-12S1 などをご使用になると現地での電気工事の短縮が図れます。

霜取りについて

霜取り方式	冷蔵庫温度	
ヒータ霜取	-10℃～-40℃	CC-B6000LH,B13000LH,B20000LH,B25000LH

ご注意

CC-Bシリーズクーリングコイルを同一室内で2台以上ご使用する場合は、霜取り開始を同時に行なってください。

ご使用方法

ヒーター霜取り1

■冷蔵庫の温度が3℃以下の場合、オフサイクル霜取りでは除霜できません。この場合、ヒーター霜取りが必要です。このヒーター霜取りは、タイマーによって除霜が開始されます。

霜取り回数は1日4回を標準としています。1回当たりの霜取り終了時間は、霜取り終了感知サーモスタットからの霜取り終了信号とタイマーによる設定時間とのどちらか短い時間により決定されます。

標準霜取り時間は25分～30分程度ですが、着霜の激しい設置条件では50分程度の霜取り時間が必要な場合があります。この場合のタイマーの設定は、安全を考えて50分セットとしてください。

なお上記は標準的な設定ですので、着霜状態をご覧になり、着霜状態によっては霜取り回数を増減してください。霜取りタイマーは、弊社マイコンタイマーのご使用をお勧めいたします。

このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

霜取りサイクル

① 通常の冷却運転

クーリングコイルの冷却ファンは連続運転をし、圧縮機はサーモスタットと低圧スイッチの指令に従って冷却運転を行います。

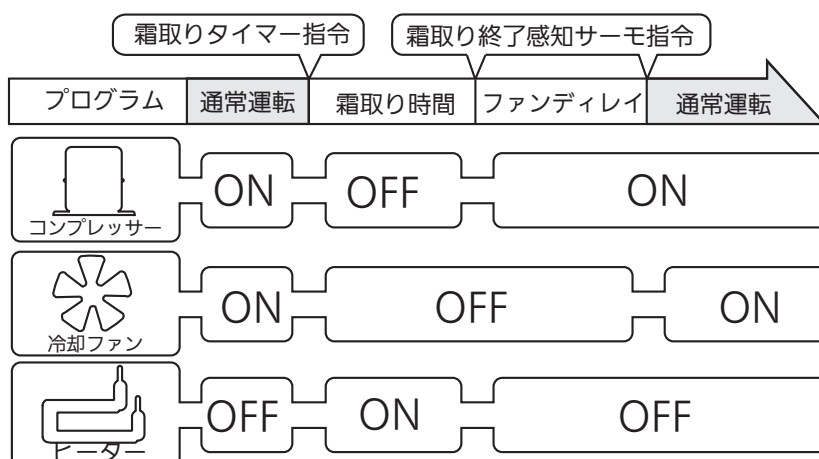
② 霜取り

- (a) 霜取りタイマーにより、圧縮機と冷却ファンが停止します。
- (b) 冷却器にセットしている霜取りヒーターに通電され、短時間に除霜が行われます。
- (c) ドレン水はドレンパイプを通して排水されます。ドレンパイプヒーターは常時通電されており、パイプ内部での氷結を防止しています。

③ 霜取り後の冷却運転

- a. 冷却器が+15℃になると霜取り終了感知サーモスタットにより、タイマーの接点は通常運転の位置に戻ります。
これによって、ヒーターへの通電が停止され、同時に圧縮機の運転を開始します。
- b. 万一霜取り終了感知サーモスタットが故障した場合は、タイマーの設定時間でヒーターへの通電を停止します。またさらに冷却器が+50℃になると、ヒーターの主回路中の異常過熱防止サーモスタットにより、ヒーターへの通電を直接切る方式を採用しております。

霜取りサイクルプログラム



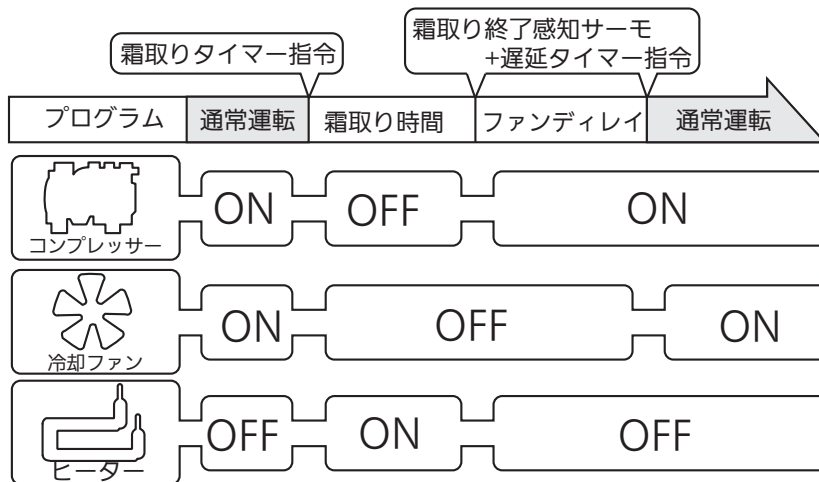
ご使用方法

ヒーター霜取り2

-30℃以下の霜取り

冷凍庫の場合は遅延タイマーによるファン遅延が必要となります。このシステムの電気回路は、31ページからの配線図をご覧ください。この場合、霜取り後に冷却ファンは、遅延タイマーの設定時間が経過するまでは運転を行いません。

霜取りサイクルプログラム



温度ヒューズについて

- ヒーター霜取りタイプのクーリングコイルには、温度ヒューズがついています。これは、異常過熱防止サーモスタット付近の温度が+97℃を超えた場合に作動して霜取り時に通電されるヒーターへの電源供給を強制的に遮断するものです。（配線方法については配線図を参照ください。）
- また温度ヒューズは、一旦作動すると付近の温度が+97℃以下になっても自動復帰しませんので交換となります。温度ヒューズが作動した場合は、21ページの交換方法をご覧ください。交換をお願いします。
- 冷却運転を再開する際には、クーリングコイル周辺が高温にさらされていたことを考慮して、本機・周辺機器等に異常がないか十分に確認・点検を行なってください。

点検とお手入れのしかた

警告

製品の外側や庫内に直接水をかけたり、水洗いしたりしない



水ぬれ禁止

ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

お手入れのときは必ず電源回路を切る



火災や感電のおそれがあります。

クーリングコイルケース（外側）

■柔らかい乾いた布でから拭きしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた後、水を浸した布で拭きとってください。

アルカリ性または酸性洗剤・酸・油類・シンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉・粉せっけん・熱湯・たわしを使用すると塗装やプラスチックを傷めますので使用しないでください。

台所用中性洗剤は容器に書いてある使用方法にしたがってください。

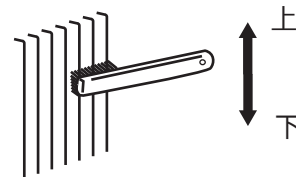
●いつも清潔にご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

ドレンパン

■ドレンパン固定ねじをドライバーで反時計方向に回すと、簡単にドレンパンが開きます。底部を清掃してください。

冷却器

■フィンを傷めないように目にそってハケ、ブラシなどで清掃してください。



ファンモーター

■使用環境により、氷が成長しファンモーターがロックする場合があります。

ロック状態が維持されるとファンモーターが焼損し、発煙するおそれがありますのでファンモーターがロックしていないか定期的にご確認をお願いします。

修理を依頼される前に

警告

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない



ぬれ手
禁止

感電の原因になります。

修理のときは必ず電源回路を切る



火災や感電の原因になります。

以下のことをお調べになって、それでも調子が悪い場合、あるいは、万一異常な音、におい、煙が出た時はすぐに運転を停止し、電源回路を切って、庫内商品を別のケースに移すなどの処理をした上で、お買い上げの販売店に下記の“お知らせいただきたい事項”をご連絡ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電ではありませんか？ ● 電源が完全に入っていますか？ ● 漏電遮断器が働いていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源回路を確認してください。（停電の際は安全のため、元電源を切っておいてください。） ● 電源スイッチを確認してください。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。
よく冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度調節は適切ですか？ ● 吸込口・吹出口を障害物でふさいではいませんか？ ● 食品を詰めすぎてはいませんか？ ● 霜の取り残しはありませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定温度を確認してください。 ● 吸込口・吹出口を障害物を取り除いてください。 ● 貯蔵品の量を調整し、冷気の通路を確保してください。 ● 霜取り設定を見直してください。

お知らせいただきたい事項

- ①故障の状況 (具体的にお知らせください。)
- ②品番 } (ネームプレートに記載してあります。)
- ③製造番号 }
- ④おなまえ、おところ、電話番号、道順 (分かりやすい目標物、棟、部屋番号までお知らせください。)
- ⑤お買い上げ年月日
- ⑥訪問ご希望日



ネームプレート

修理について

警告

修理は販売店または、専門業者に依頼する 修理のときは必ず電源回路を切る



霜取り中のヒーター周辺は高温になり、やけどの原因になります。



感電やファンによるケガ、ヒーターによるやけどの原因になります。

注意

ヒータークリップを取りはずす場合、ドライバー等でこじらない

修理のときは手袋を着用する。



パイプの変形、ガス漏れの原因になります。

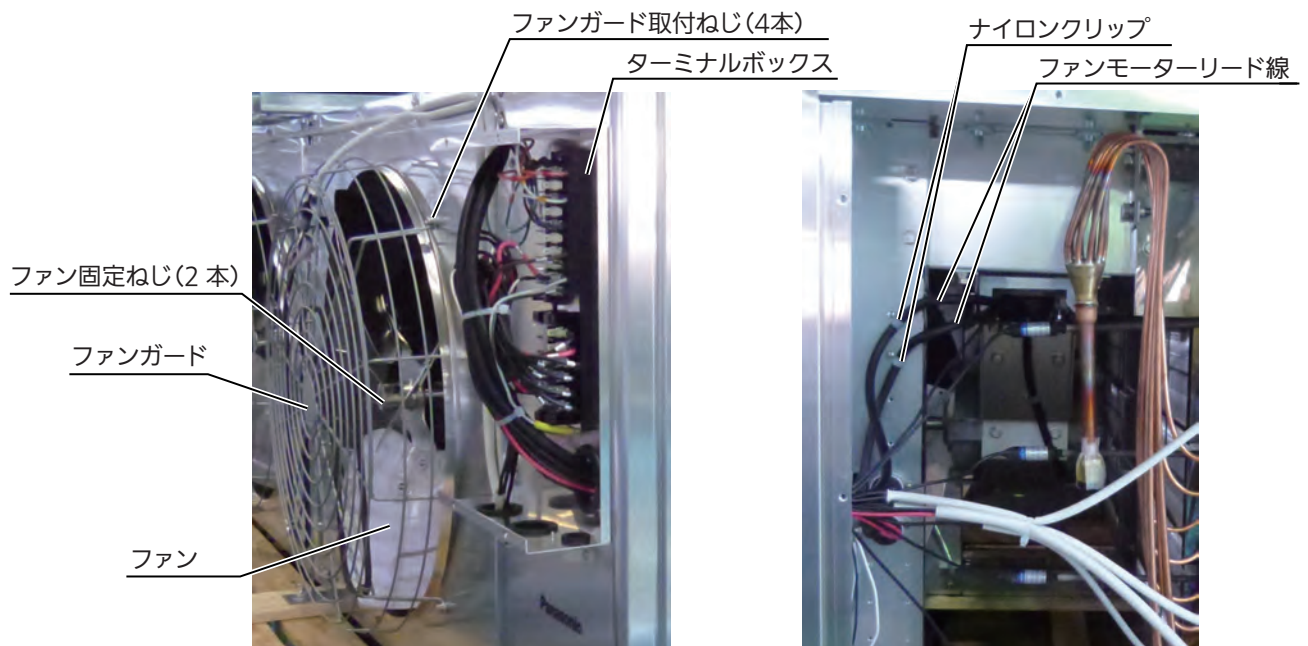


ケガの原因になります。

禁止

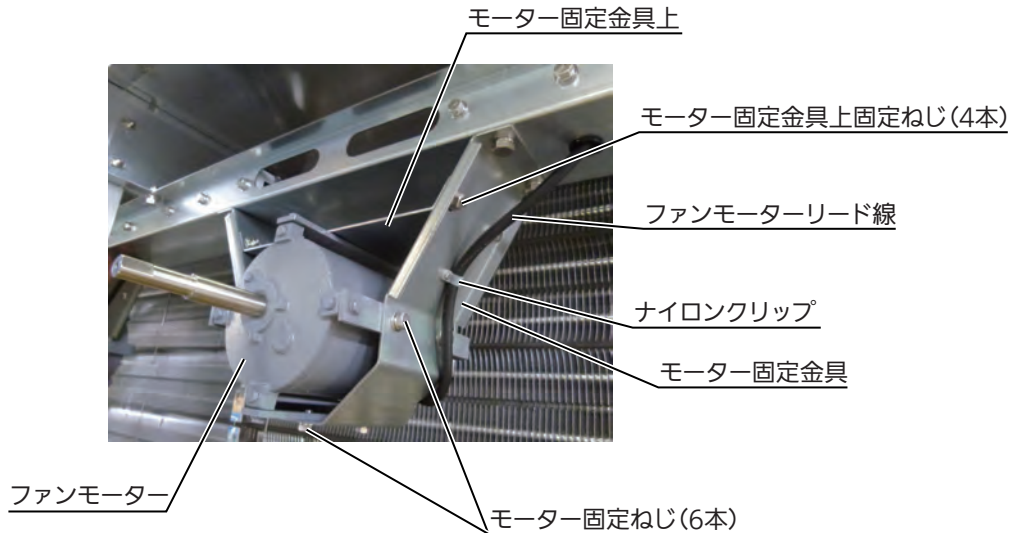
ファンモーターの交換

1. ファンガード取付ねじ 4 本をはずし、ファンガードを取りはずします。
2. ファン固定ねじを緩めてファンを取りはずします。
3. ターミナルボックスを開き、ファンモーター端子を取りはずします。
(27～30 ページ製品電気回路図参照)
4. ターミナルボックス側の側板を取りはずし、ファンモーターリード線を固定しているナイロンクリップを取りはずしてください。
5. ファンモーターリード線を取りはずします。

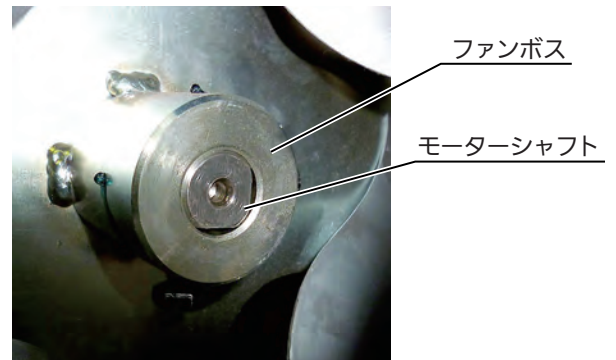


修理について

6. 固定ねじ(M8×20 4本)を取りはずし、モーター固定金具上を取りはずします。
7. モーター固定金具にモーターを固定しているねじ(M8×14 6本)を取りはずしてください。
8. ファンモーターを手前に引き出して取りはずします。
9. ファンモーターは、取りはずしたねじでリード線が右45°下にくるように取り付けてください。
※ねじは、ねじ、ばね座金、平ワッシャーのセットとなります。

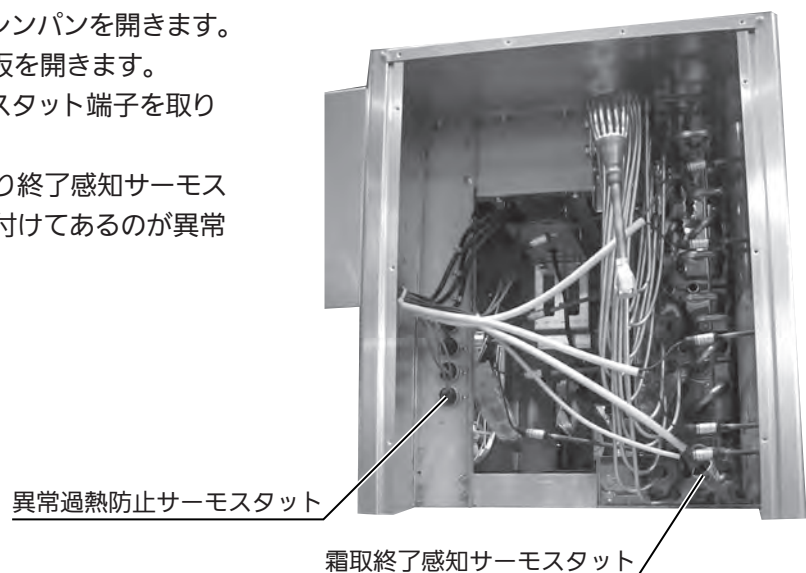


10. ファン、ファンガードを取り付けます。
この時、ファンボスの前面とモーターシャフトの先端が面一となるようにしてください。
11. ファンモーター端子を取り付け、モーターリード線を処理します。
12. ファンモーターリード線をナイロンクリップで固定します。
13. ターミナルボックスを閉じ、ケース側板を取り付けてください。



サーモスタットの交換

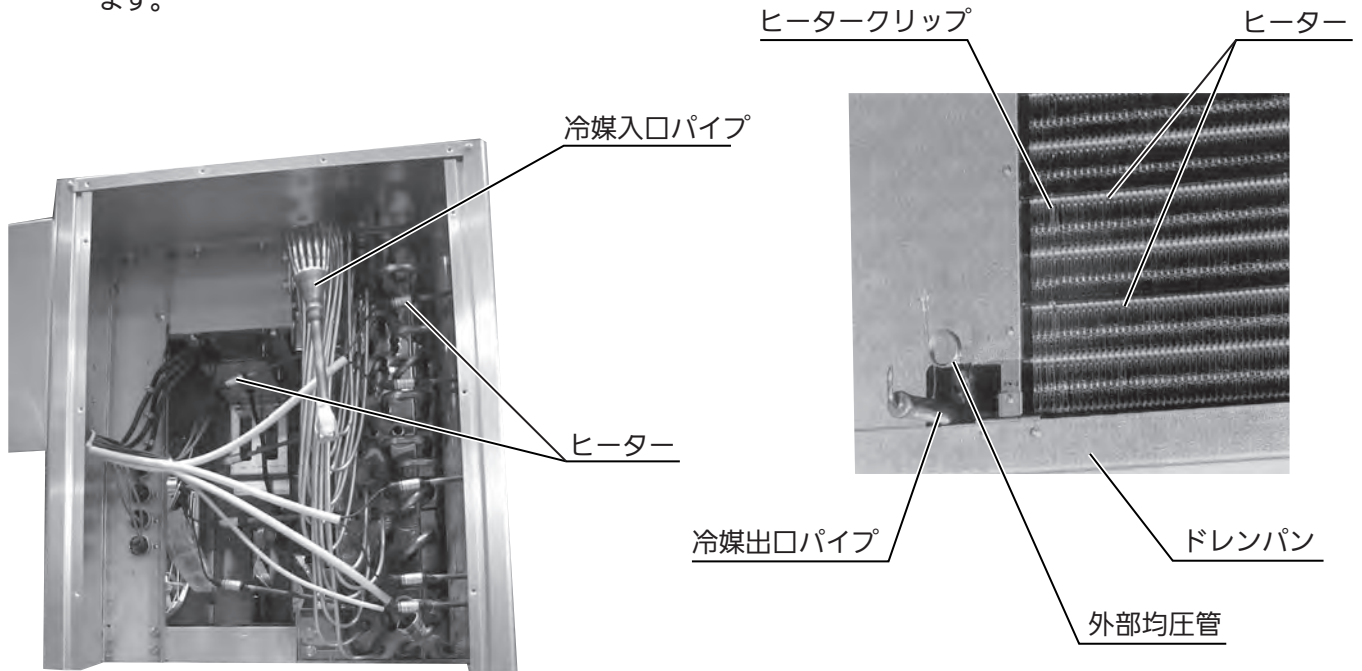
1. ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
2. ターミナルボックス側のケース側板を開きます。
3. ターミナルボックスを開きサーモスタット端子を取りはずします。
4. 銅パイプに取付けてあるのが霜取り終了感知サーモスタット、冷却器側板にねじで取付けてあるのが異常過熱防止サーモスタットです。



修理について

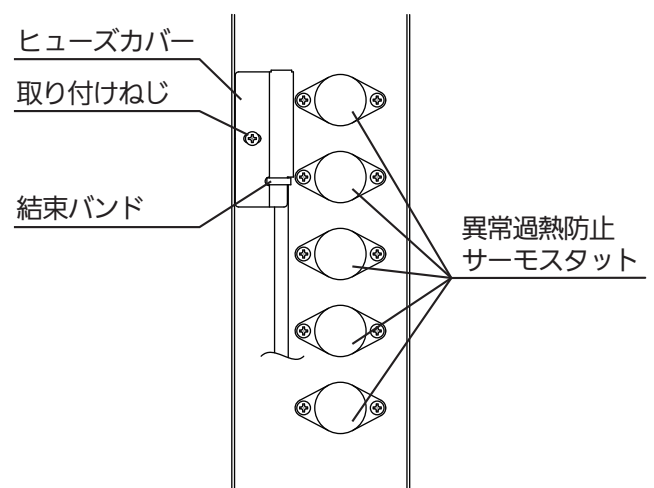
霜取りヒーターの交換

1. ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。(5 ページ 各部のなまえ 参照)
2. ターミナルボックス側のケース側板を取りはずします。
3. ターミナルボックスを開き、ヒーター端子を取りはずします。
4. ヒーターリード線を取りはずします。
5. ヒータークリップをプライヤー（ペンチ、ラジオペンチ）で取りはずします。
6. 冷却器からヒーターを浮かせ、ターミナルボックス側に引きますと取りはずすことができます。

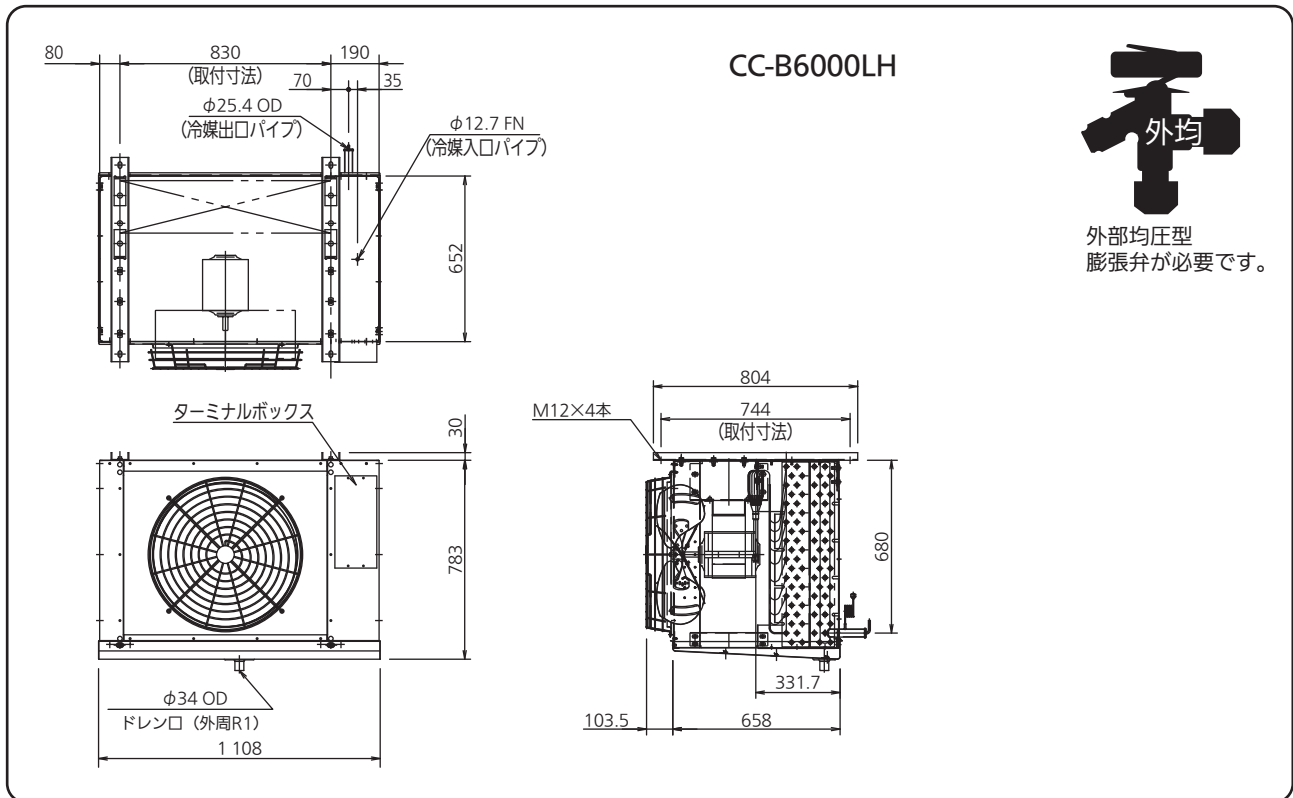


温度ヒューズの交換

1. ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
2. ターミナルボックス側のケース側板を開きます。
3. ターミナルボックスを開き、温度ヒューズ端子を取りはずします。
4. 温度ヒューズカバーのねじをはずし、ヒューズカバーごと温度ヒューズを取りはずします。
5. ヒューズカバーの結束バンドをはずし、温度ヒューズ本体を取りはずします。
6. 温度ヒューズを交換の後は、はずした順番に元に戻してください。



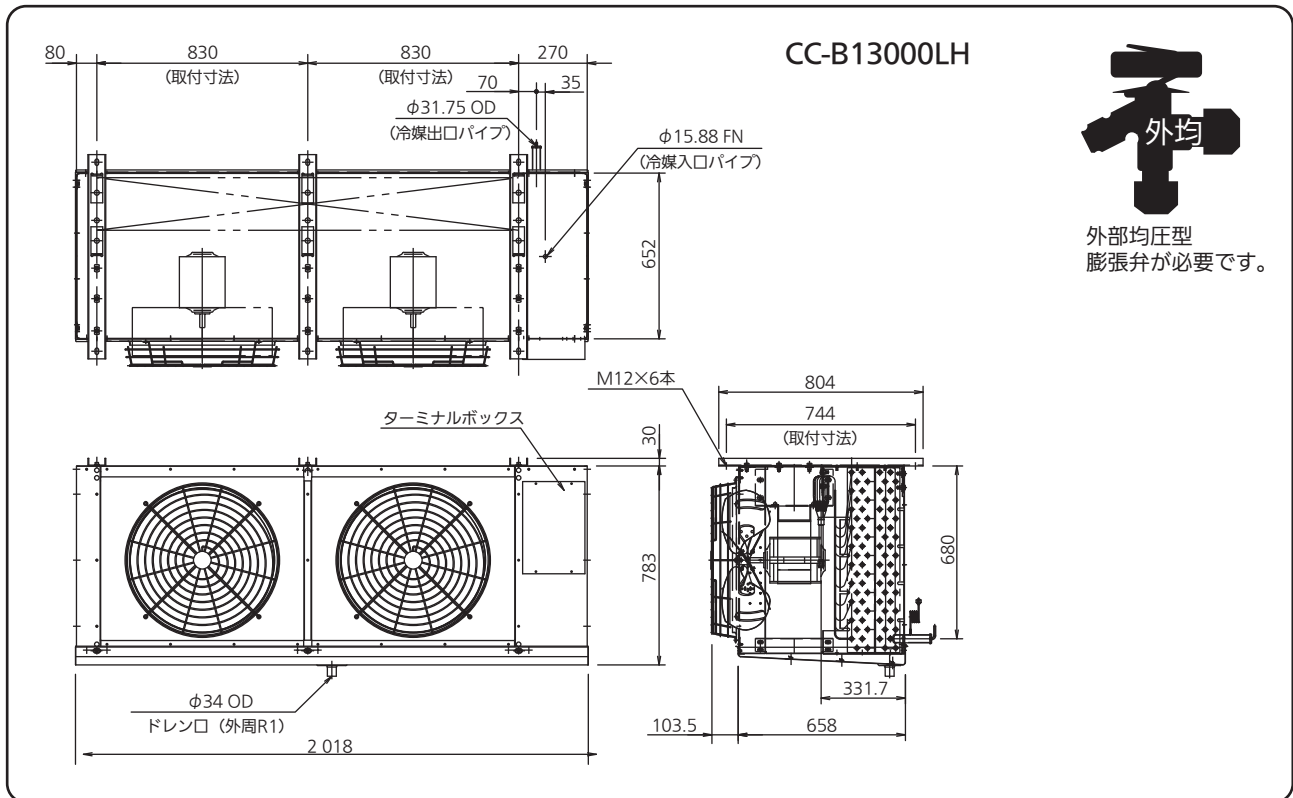
仕 様



外部均圧型
膨張弁が必要です。

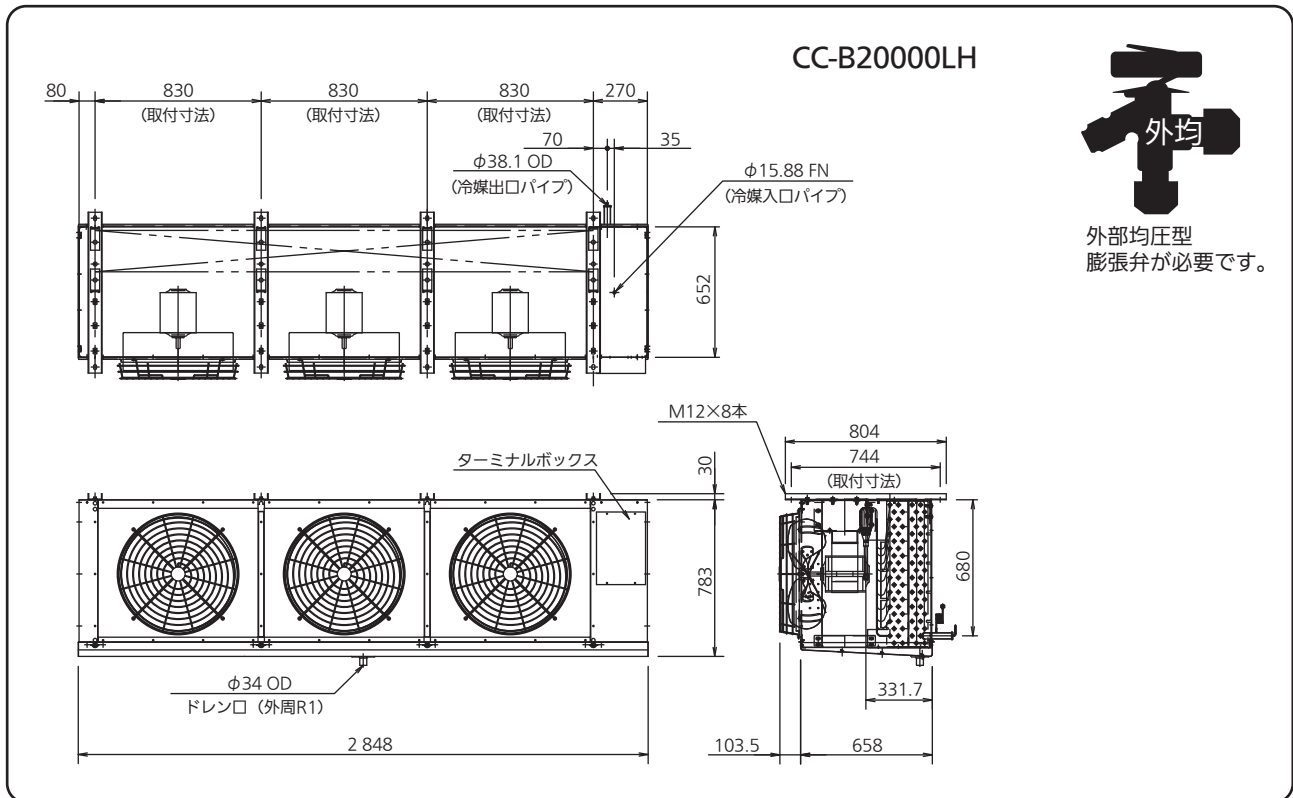
品番	CC-B6000LH	
外装ケース	アルミニウム	
使用温度	- 10℃以下 - 40℃まで	
フィンピッチ	8.0 mm	
冷却面積	27.32 m ²	
冷凍能力	5℃TD	3 430 W/3 650 W
	7℃TD	4 800 W/5 100 W
	10℃TD	6 860 W/7 290 W
ファンモーター	出力	300 W/400 W(入力 50 Hz/60 Hz 450 W/640 W)
	始動電流	11.0 A/9.7 A
ファン直径	φ550 mm	
風量	120 m ³ /140 m ³ /min	
電源	三相 200 V 50 Hz/60Hz	
総合消費電力	運転	0.46 kW/0.65 kW
	霜取り	5.96 kW/5.96 kW
総合消費電流	運転	2.3 A/2.5 A
	霜取り	19.7 A/19.7 A
霜取り方式	ヒーター方式	
ヒーター容量	霜取りヒーター	5.95 kW
	ターミナルボックスヒーター	8 W
	ドレンホースヒーター	-
配管接続	冷媒入口パイプ	φ12.7 mmFN (1/2")
	冷媒出口パイプ	φ25.4 mmOD
	ドレン口	25 A (外周 R1)
製品質量	87 kg	
適用冷凍機	3.7 kW ~ 5.5 kW	

仕 様



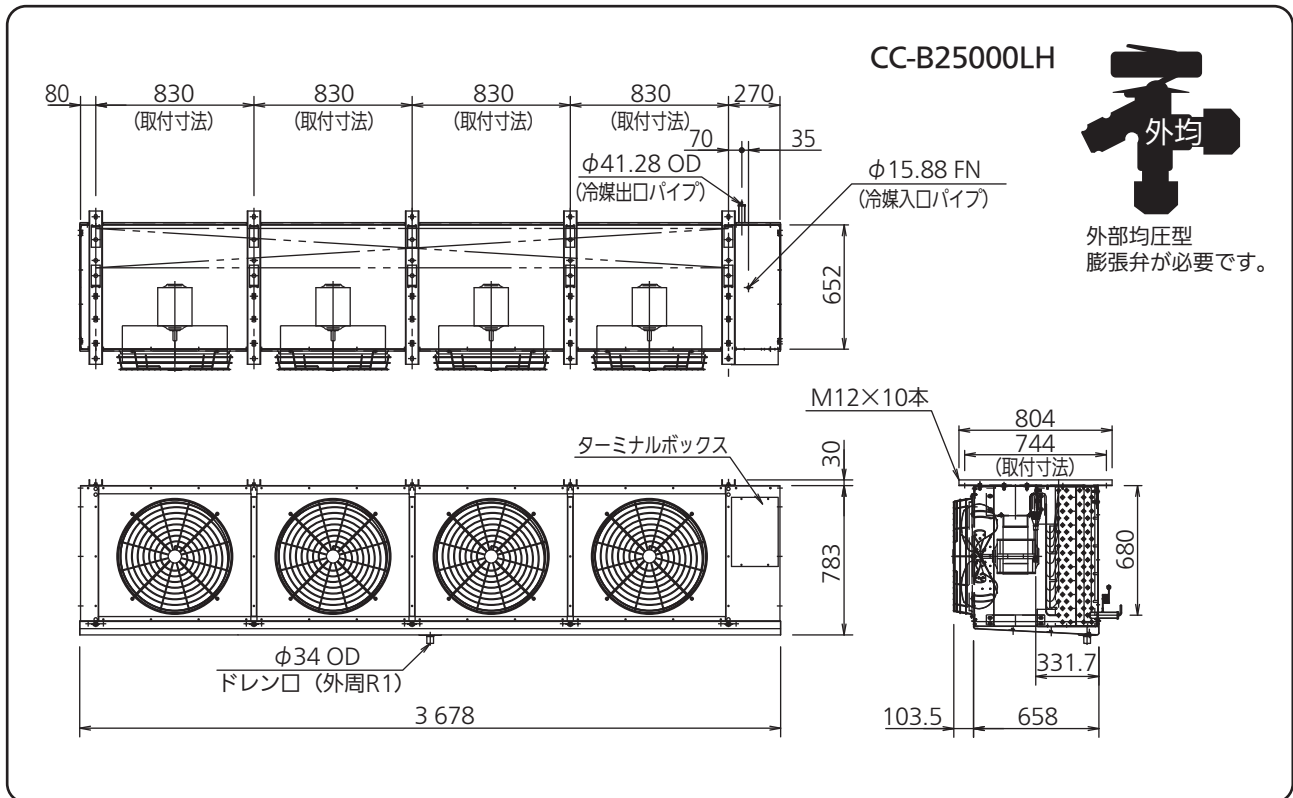
品番	CC-B13000LH	
外装ケース	アルミニウム	
使用温度	- 10℃以下 - 40℃まで	
フィンピッチ	8.0 mm	
冷却面積	56.03 m ²	
冷凍能力	5℃TD	6 970 W/7 380 W
	7℃TD	9 760 W/10 340 W
	10℃TD	13 930 W/14 770 W
ファンモーター	出力	300 W/400 W × 2 (入力 50 Hz/60 Hz 900 W/1 280 W)
	始動電流	22.0 A/19.4 A
ファン直径	φ550 mm	
風量	241 m ³ /280 m ³ /min	
電源	三相200 V 50 Hz/60 Hz	
総合消費電力	運転	0.91 kW/1.29 kW
	霜取り	10.81 kW/10.81 kW
総合消費電流	運転	4.6 A/4.9 A
	霜取り	32.6 A/32.6 A
霜取り方式	ヒーター方式	
ヒーター容量	霜取りヒーター	10.8 kW
	ターミナルボックスヒーター	12 W
	ドレンホースヒーター	-
配管接続	冷媒入口パイプ	φ15.88 mmFN (5/8")
	冷媒出口パイプ	φ31.75 mmOD
	ドレン口	25A (外周R1)
製品質量	136 kg	
適用冷凍機	7.5 kW ~ 10.5 kW	

仕 様



品番	CC-B20000LH	
外装ケース	アルミニウム	
使用温度	- 10℃以下 - 40℃まで	
フィンピッチ	8.0 mm	
冷却面積	84.54 m ²	
冷凍能力	5℃TD	10 630 W/11 270 W
	7℃TD	14 880 W/15 780 W
	10℃TD	21 260 W/22 530 W
ファンモーター	出力	300 W/400 W × 3 (入力 50 Hz/60 Hz 1 350 W/1 920 W)
	始動電流	33.0 A/29.1 A
ファン直径	φ550 mm	
風量	361 m ³ /420 m ³ /min	
電源	三相200 V 50 Hz/60 Hz	
総合消費電力	運転	1.37 kW/1.94 kW
	霜取り	14.22 kW/14.22 kW
総合消費電流	運転	6.9 A/7.3 A
	霜取り	41.0 A/41.0 A
霜取り方式	ヒーター方式	
ヒーター容量	霜取りヒーター	14.2 kW
	ターミナルボックスヒーター	17 W
	ドレンホースヒーター	-
配管接続	冷媒入口パイプ	φ15.88 mmFN (5/8")
	冷媒出口パイプ	φ38.1 mmOD
	ドレン口	25A (外周R1)
製品質量	190 kg	
適用冷凍機	10.5 kW ~ 15.0 kW	

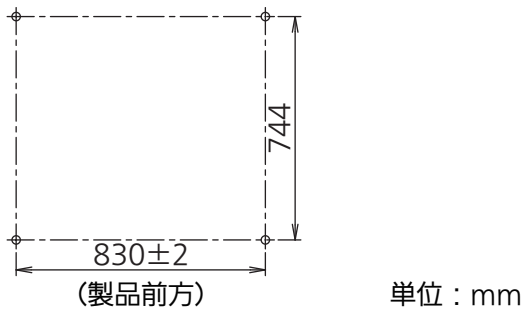
仕 様



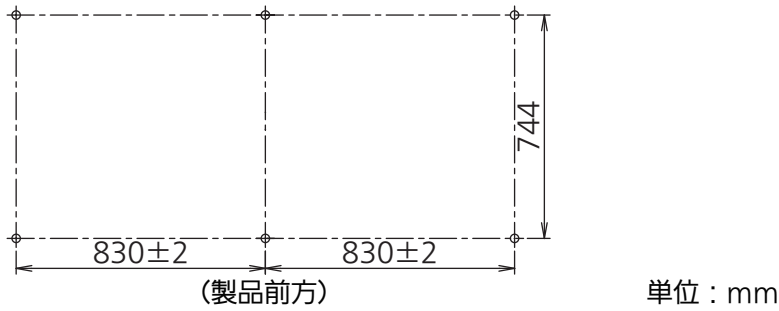
品番	CC-B25000LH	
外装ケース	アルミニウム	
使用温度	-10℃以下～40℃まで	
フィンピッチ	8.0 mm	
冷却面積	113.19 m ²	
冷凍能力	5℃TD	14 070 W/14 920 W
	7℃TD	19 700 W/20 890 W
	10℃TD	28 140 W/29 840 W
ファンモーター	出力	300 W/400 W × 4(入力 50 Hz/60 Hz 1 800 W/2 560 W)
	始動電流	44.0 A/38.8 A
ファン直径	φ550 mm	
風量	482 m ³ /560 m ³ /min	
電源	三相200 V 50 Hz/60 Hz	
総合消費電力	運転	1.82 kW/2.58 kW
	霜取り	18.82 kW/18.82 kW
総合消費電流	運転	9.1 A/9.8 A
	霜取り	53.7 A/53.7 A
霜取り方式	ヒーター方式	
ヒーター容量	霜取りヒーター	18.8 kW
	ターミナルボックスヒーター	17 W
	ドレンホースヒーター	—
配管接続	冷媒入口パイプ	φ15.88 mmFN (5/8")
	冷媒出口パイプ	φ41.28 mmOD
	ドレン口	25A (外周R1)
製品質量	244 kg	
適用冷凍機	18.0 kW～22.0 kW	

製品取付天井寸法

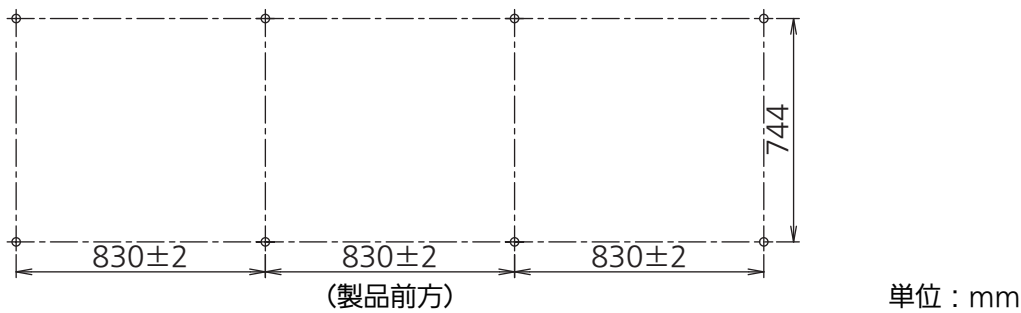
対象機種 CC-B6000LH



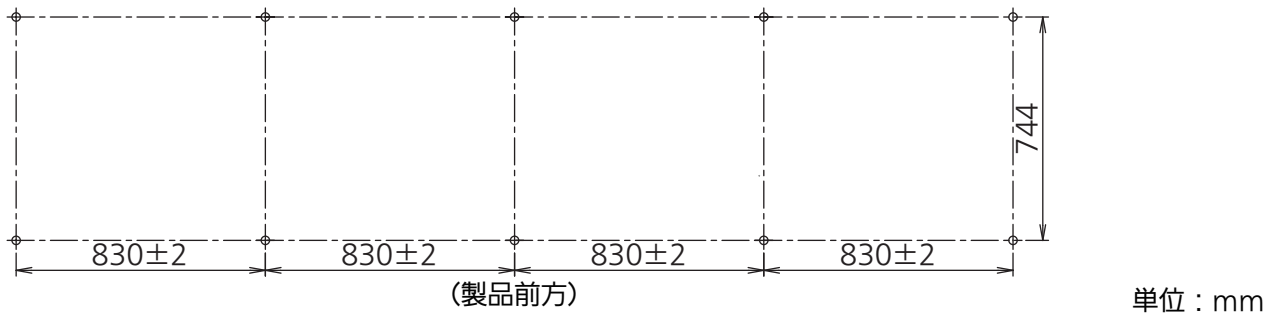
対象機種 CC-B13000LH



対象機種 CC-B20000LH

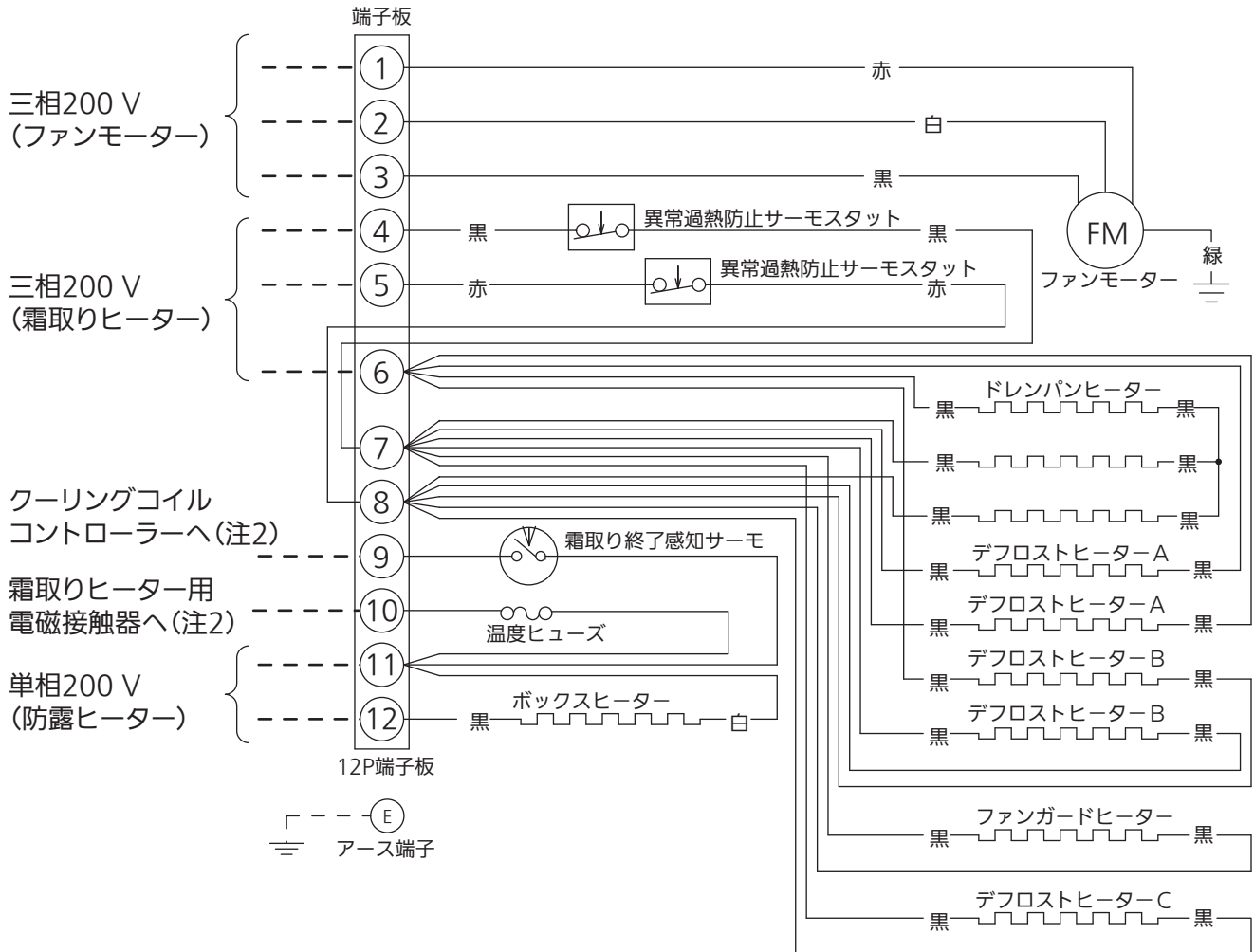


対象機種 CC-B25000LH



製品電気回路図

CC-B6000LH 電気回路図

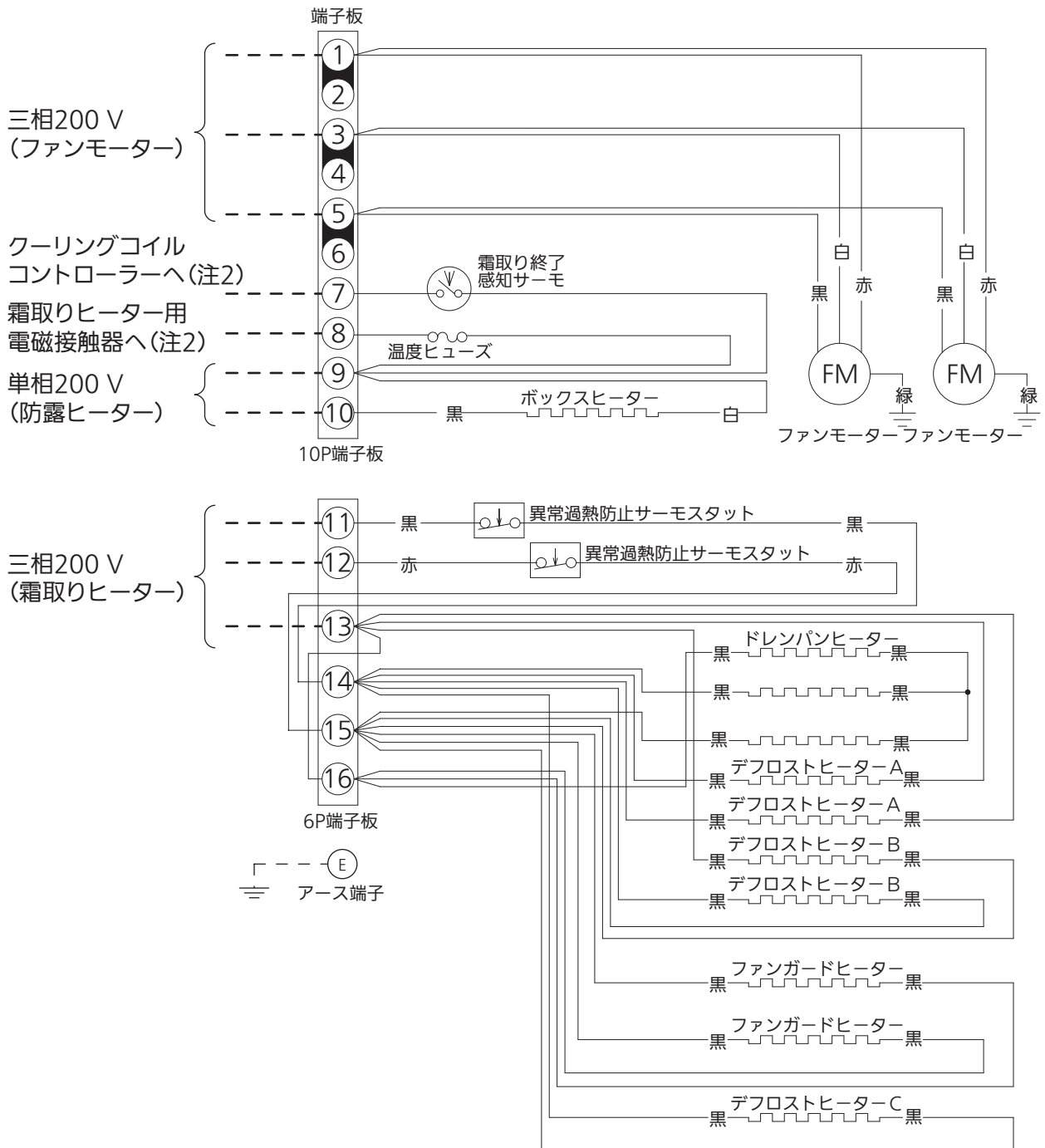


注記

1. 接点部の矢印は、温度が上昇した場合の動作方向を示します。
3. 端子板9, 10への配線は、使用するコントローラーの取扱説明書を参照ください。

製品電気回路図

CC-B13000LH 電気回路図

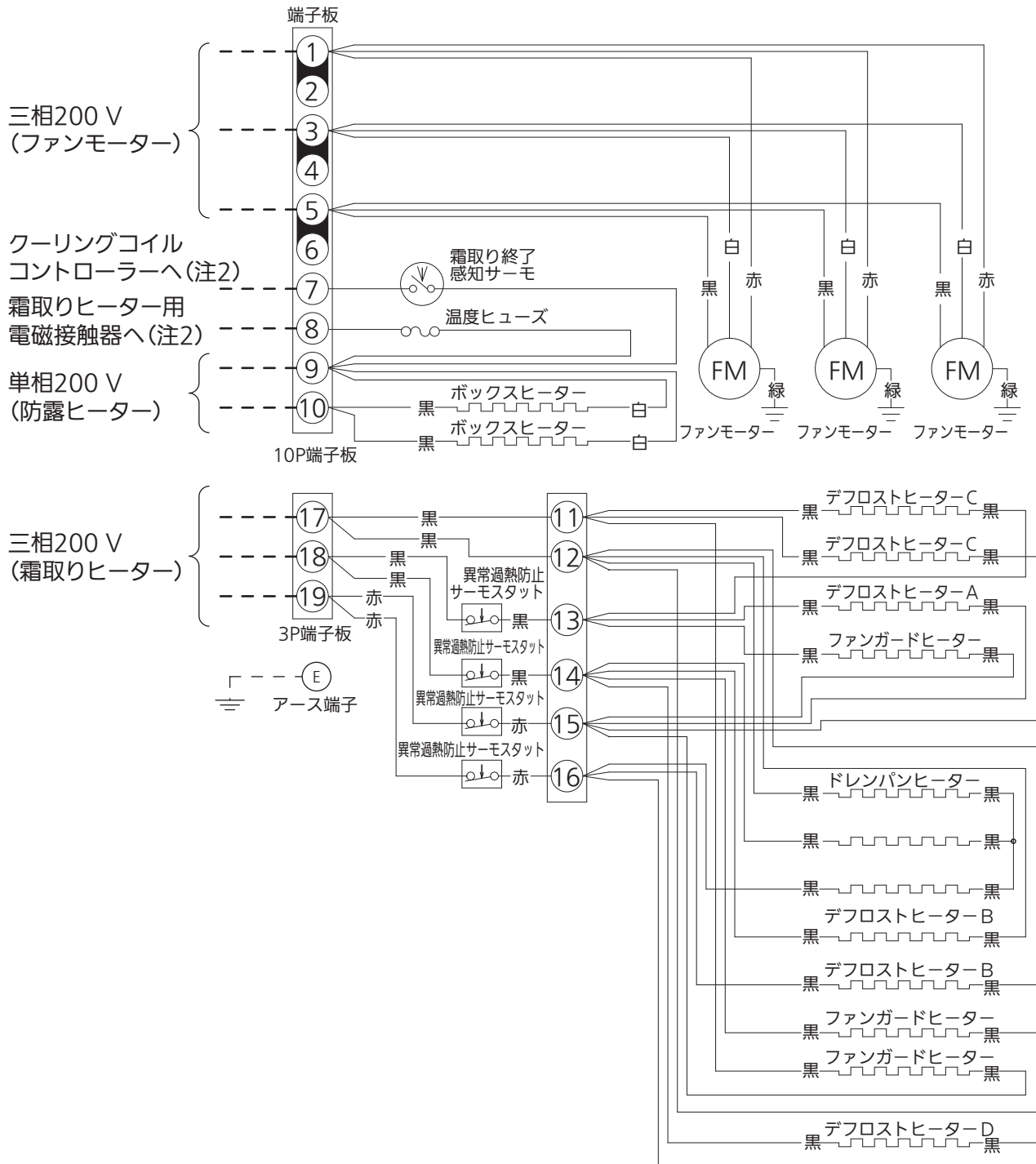


注記

1. 接点部の矢印は、温度が上昇した場合の動作方向を示します。
3. 端子板7, 8への配線は、使用するコントローラーの取扱説明書を参照ください。

製品電気回路図

CC-B20000LH 電気回路図

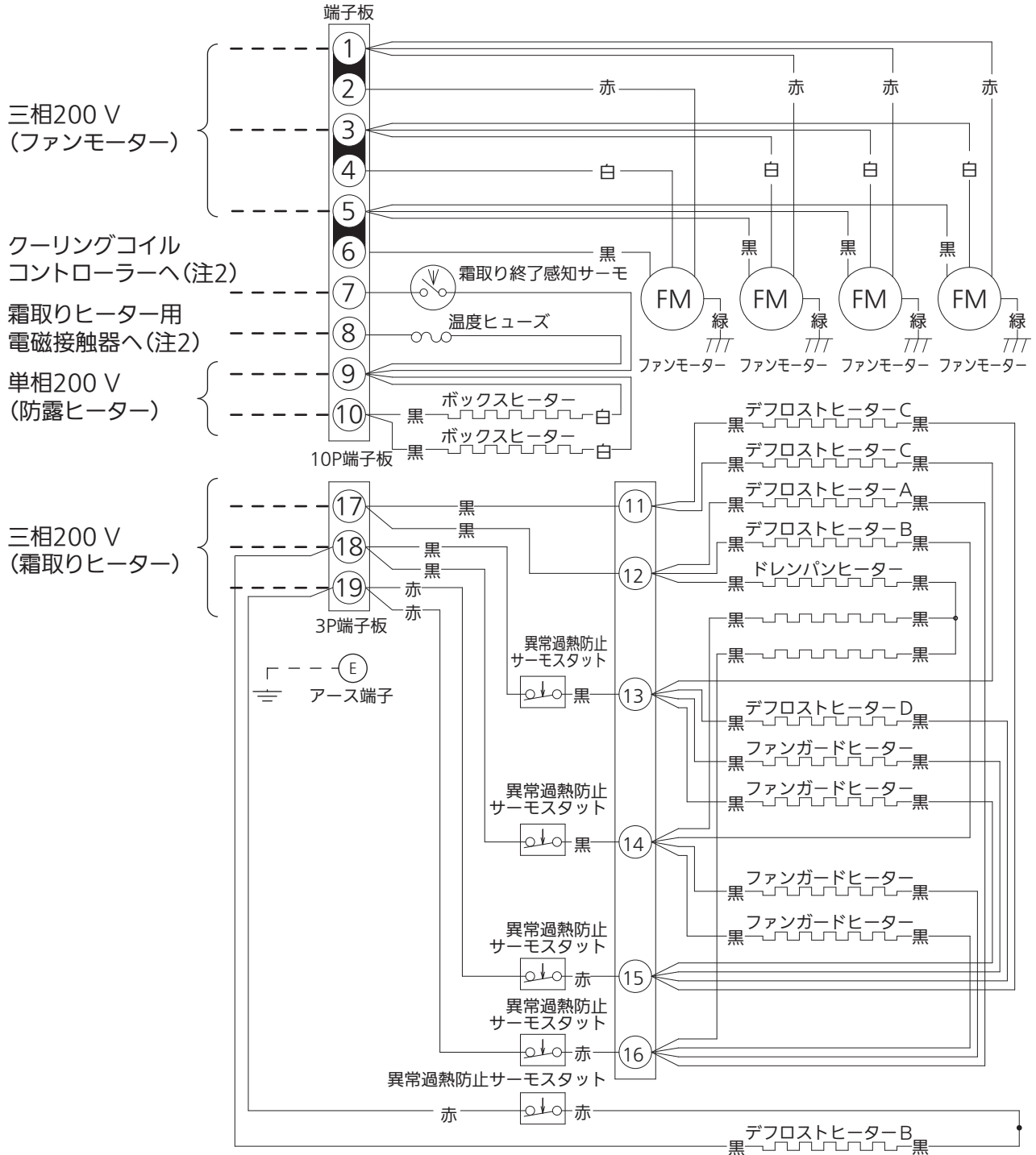


注記

1. 接点部の矢印は、温度が上昇した場合の動作方向を示します。
3. 端子板 7, 8 への配線は、使用するコントローラーの取扱説明書を参照ください。

製品電気回路図

CC-B25000LH 電気回路図

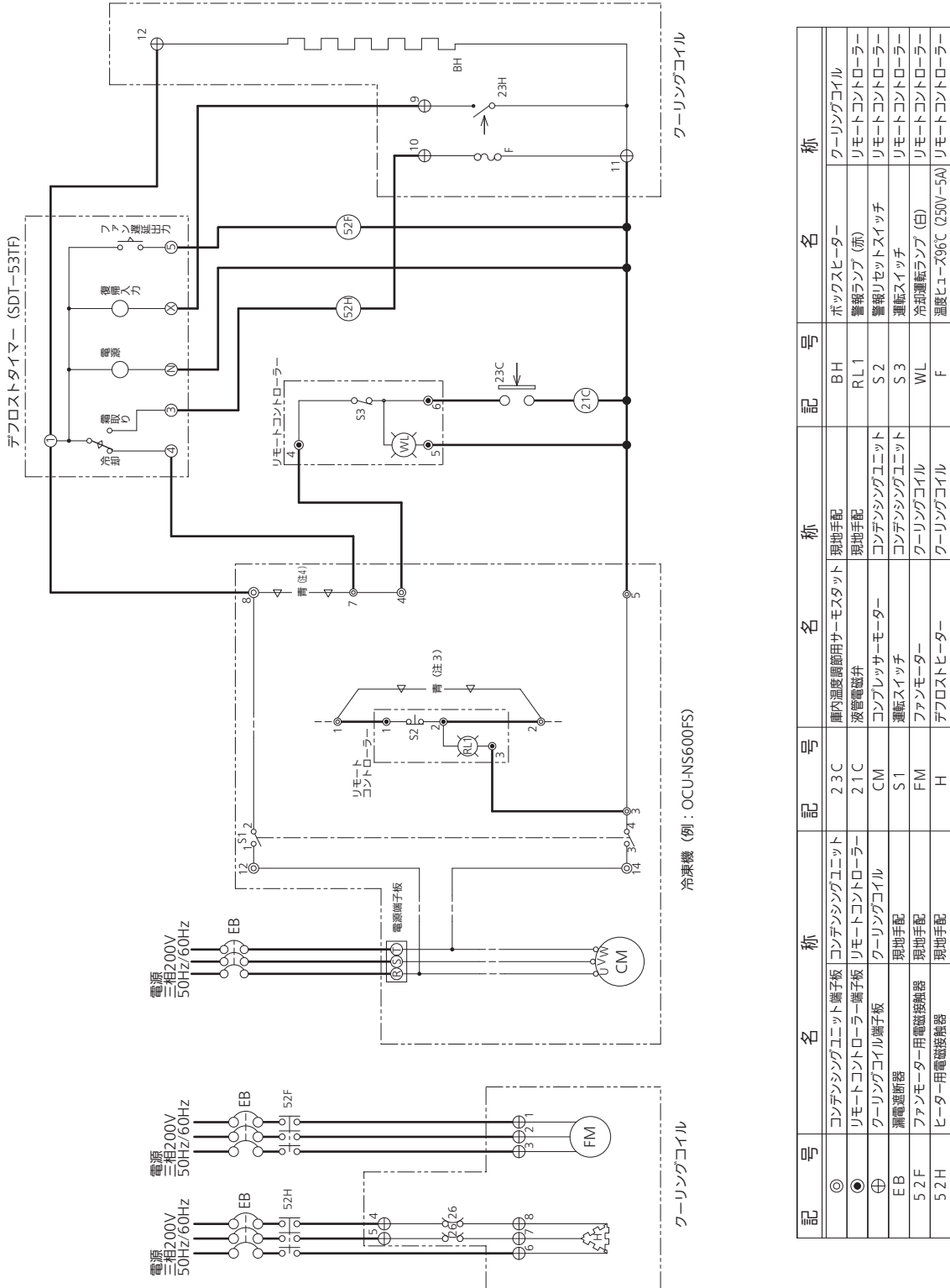


注記

1. 接点部の矢印は、温度が上昇した場合の動作方向を示します。
3. 端子板 7, 8 への配線は、使用するコントローラーの取扱説明書を参照ください。

配線図

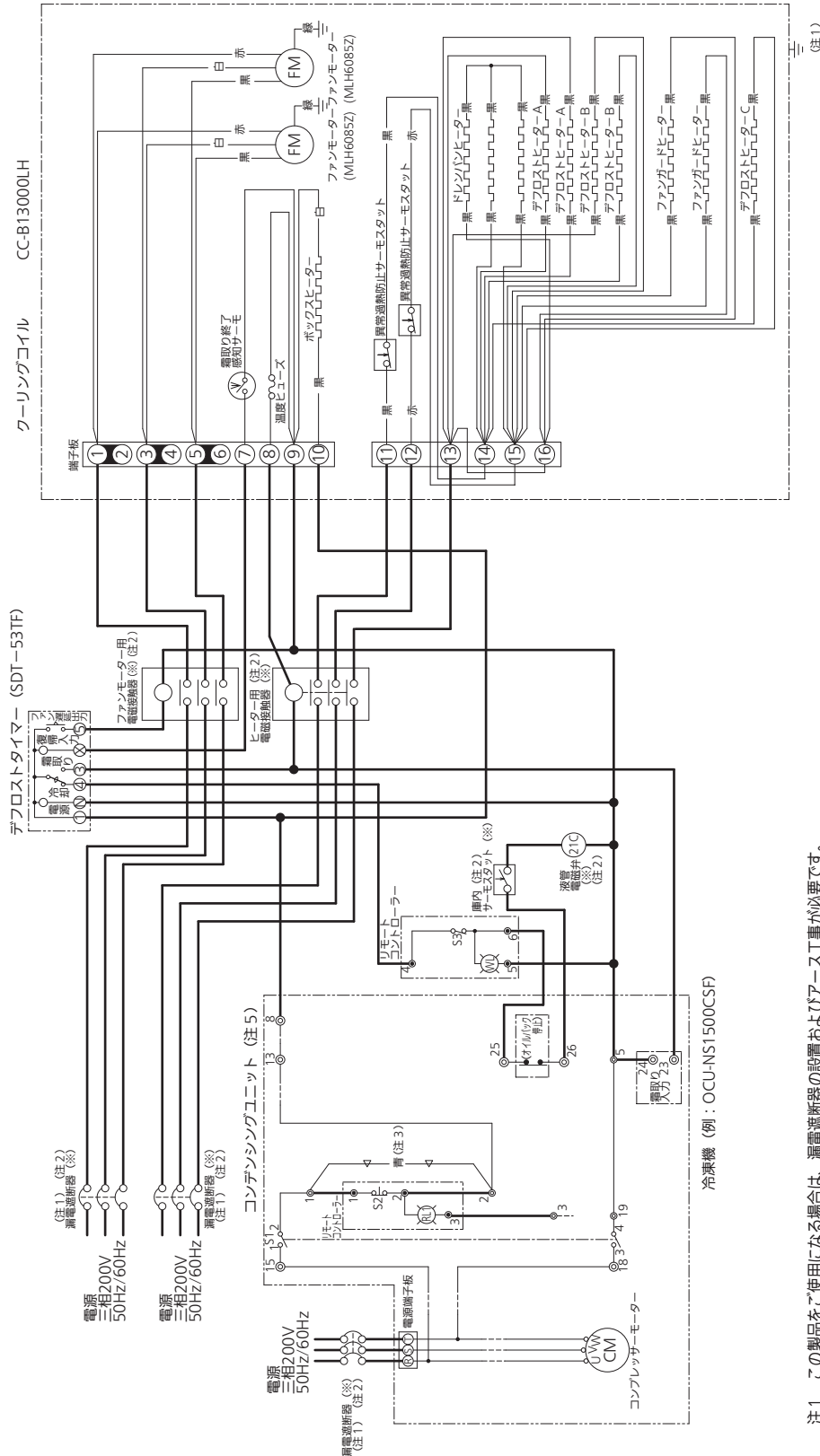
操作回路図1



配線図

ヒーター霜取り（1台連結）三相200 V用（デフロスタータイマーSDT-53TFを使用の場合）

電気配線図2 OCN-NS1500CSF+CC-B13000LHの組合せ



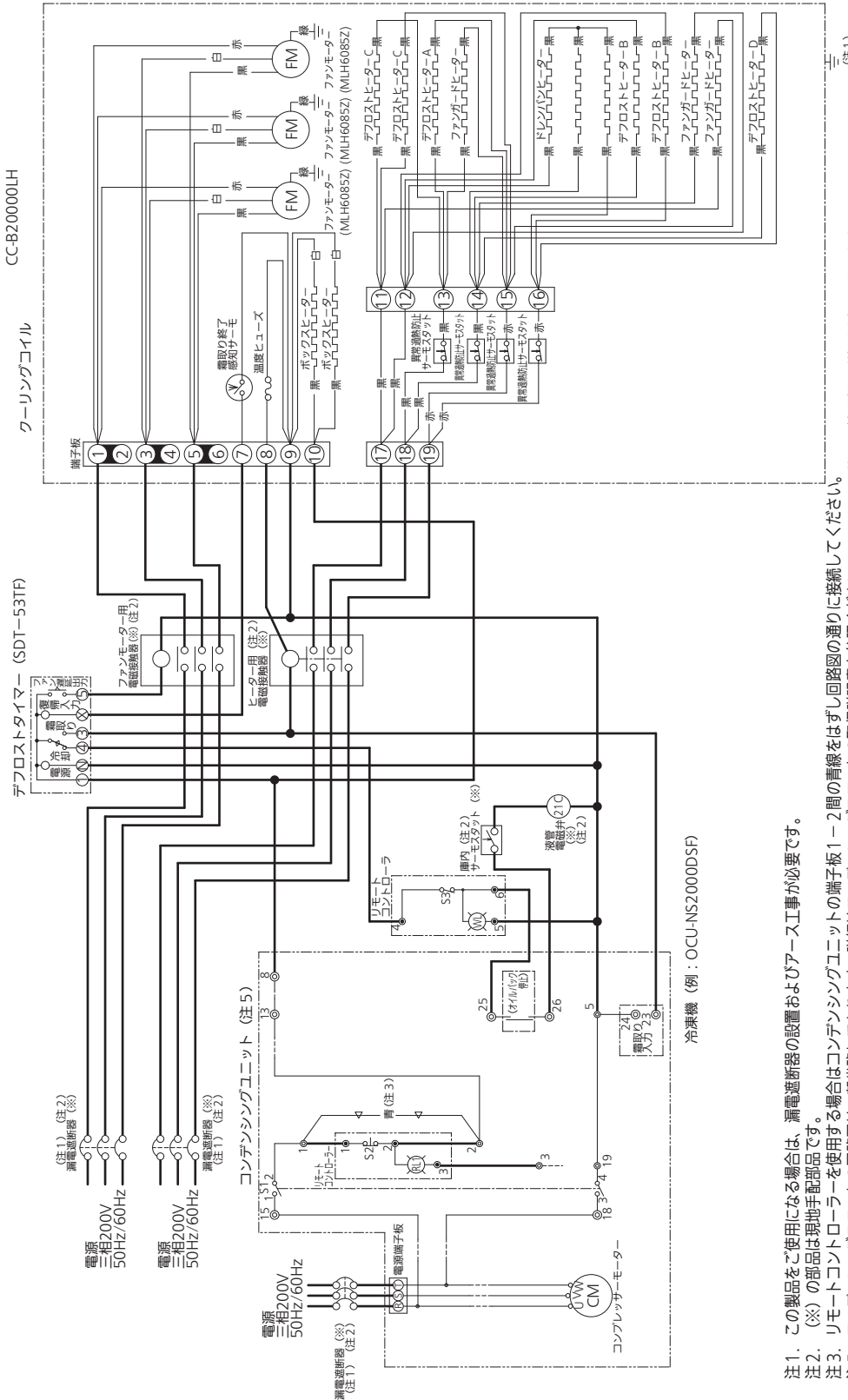
- 注1. この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置およびアース工事が必須です。
- 注2. (※) の部品は現地手配品です。
- 注3. リモートコントローラを使用する場合はコンデンシングユニットの端子板1-2間の青線をはずし回路図の通りに接続してください。
- 注5. コンデンシングユニットの回路図は一部省略してあります。詳細はコンデンシングユニットの取扱説明書を参照ください。
- 注6. 接点の矢印は温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
- 注7. 結線の詳細を以下に示します。
- 注8. 端子板の詳細を以下に示します。

! この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必須です。

配線図

ヒーター霜取り（1台連結）三相200 V用（デフロスタータイマーSDT-53TFを使用の場合）

電気配線図3 OCN-NS2000DSF+CC-B20000LHの組合せ



- 注1. この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置およびアース工事が必須です。
- 注2. (※) の部品は現地手配部品です。
- 注3. リモートコントローラを使用する場合はコンデンシングユニットの端子板1-2間の青線をはずし回路図の通りに接続してください。
- 注5. コンデンシングユニットの回路図は一部省略してあります。詳細はコンデンシングユニットの取扱説明書を参照ください。
- 注6. 接点の矢印は温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
- 注7. 結線の詳細を以下に示します。
 現地配線
 工場配線

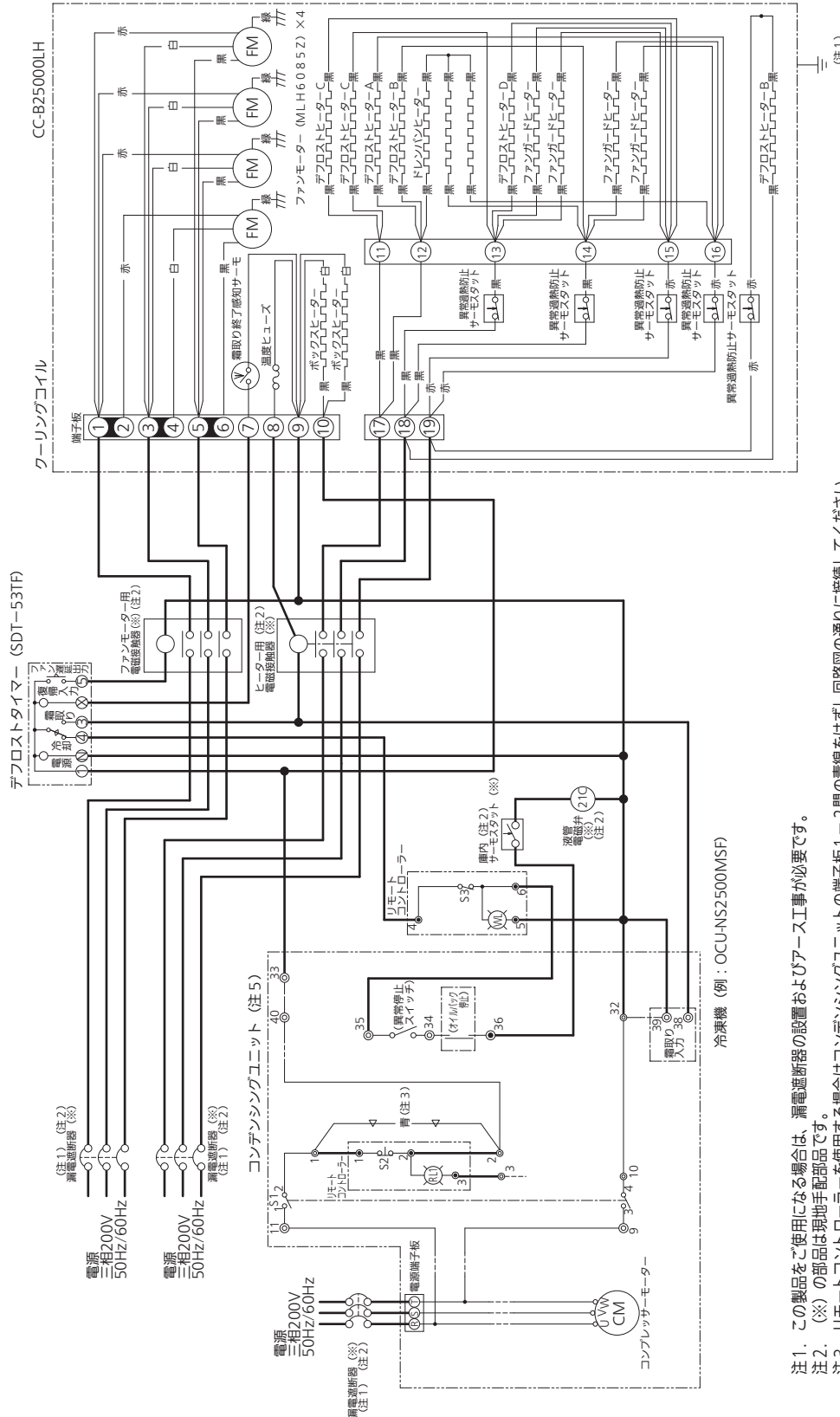
注8. 端子板の詳細を以下に示します。
 ◎ コンデンシングユニット内端子板
 ● リモートコントローラ内端子板

! この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必須です。

配線図

ヒーター霜取り（1台連結）三相200 V用（デフロストタイマーSDT-53TFを使用の場合）

電気配線図4 OCN-NS2500MSF+CC-B25000LHの組合せ



- 注1. この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置およびアース工事が必須です。
 注2. (※) の部品は現地手配部品です。
 注3. リモートコントローラーを使用する場合はコンデンシングユニットの端子板1-2間の青線をはずし回路図の通りに接続してください。
 注5. コンデンシングユニットの回路図は一部省略してあります。詳細はコンデンシングユニットの取扱説明書を参照ください。
 注6. 接点の矢印は温度が上昇した場合の接点の動作方向を示します。
 注7. 結線の詳細を以下に示します。
 現場配線
 室内 工場配線

- 注8. 端子板の詳細を以下に示します。
 ◎ コンデンシングユニット内端子板
 ● リモートコントローラー内端子板

! この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必須です。

◎お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

品番	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	電話 () -

パナソニック株式会社 コールドチェーン事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2015-2024

部品品番
3FL6P110108005

C1015-5094